Shower toilet

取扱説明書 | 保証書別添 |

ベーシア

DT-B283 型 ,DT-B282 型 ,DT-B281 型
DT-B253 型 ,DT-B252 型 ,DT-B251 型

シャワートイレは、高齢の方、お体の不自由な方、ご病気の方、小さなお子さまも、
おひとりでご使用になるものです。しかも肌に直接触れます。
万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、快適にお使いいただくために、
必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

❖ 安全上のご注意・必ずお守りください

7～11ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

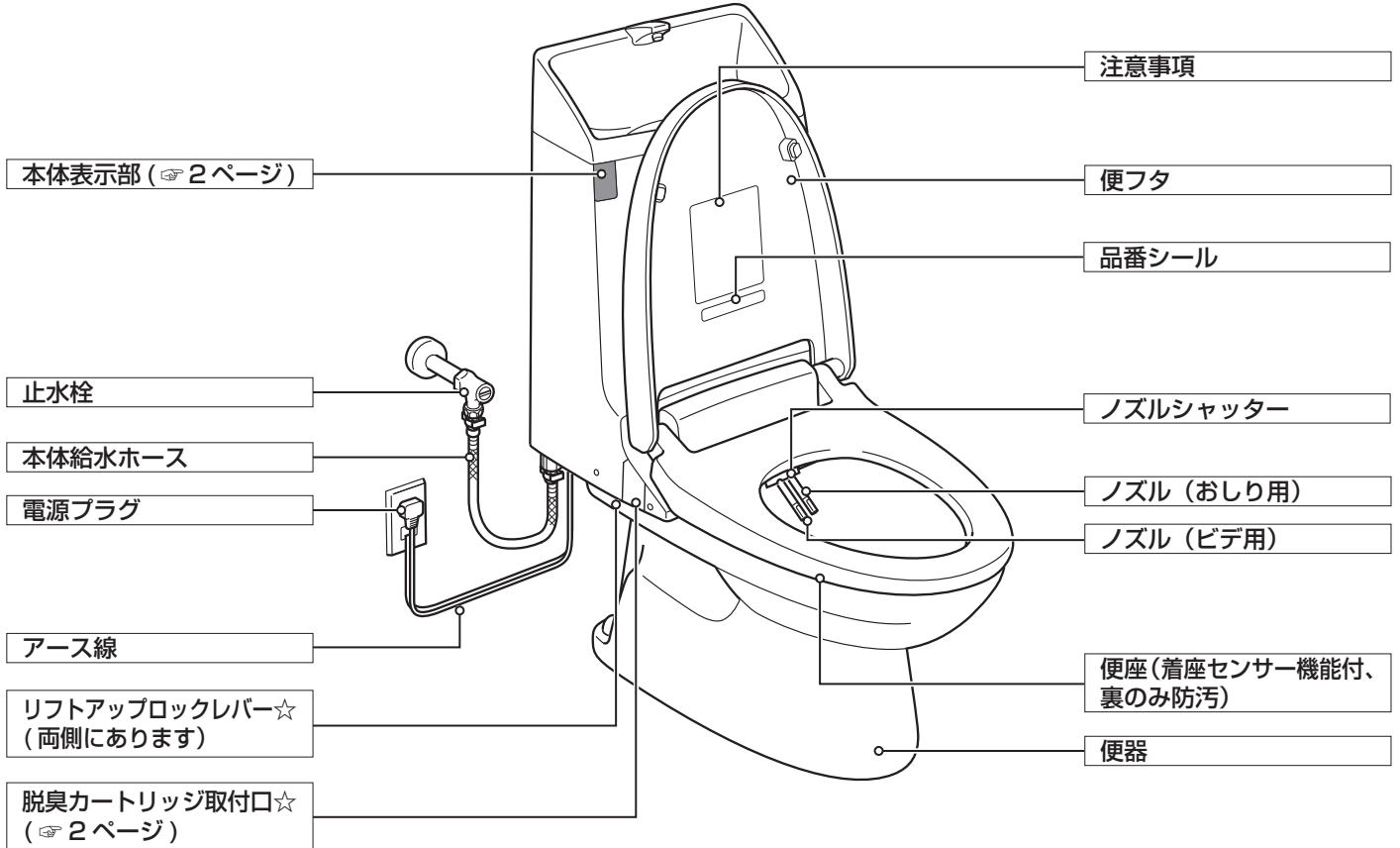
★工事店様へ 貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

袋:PE

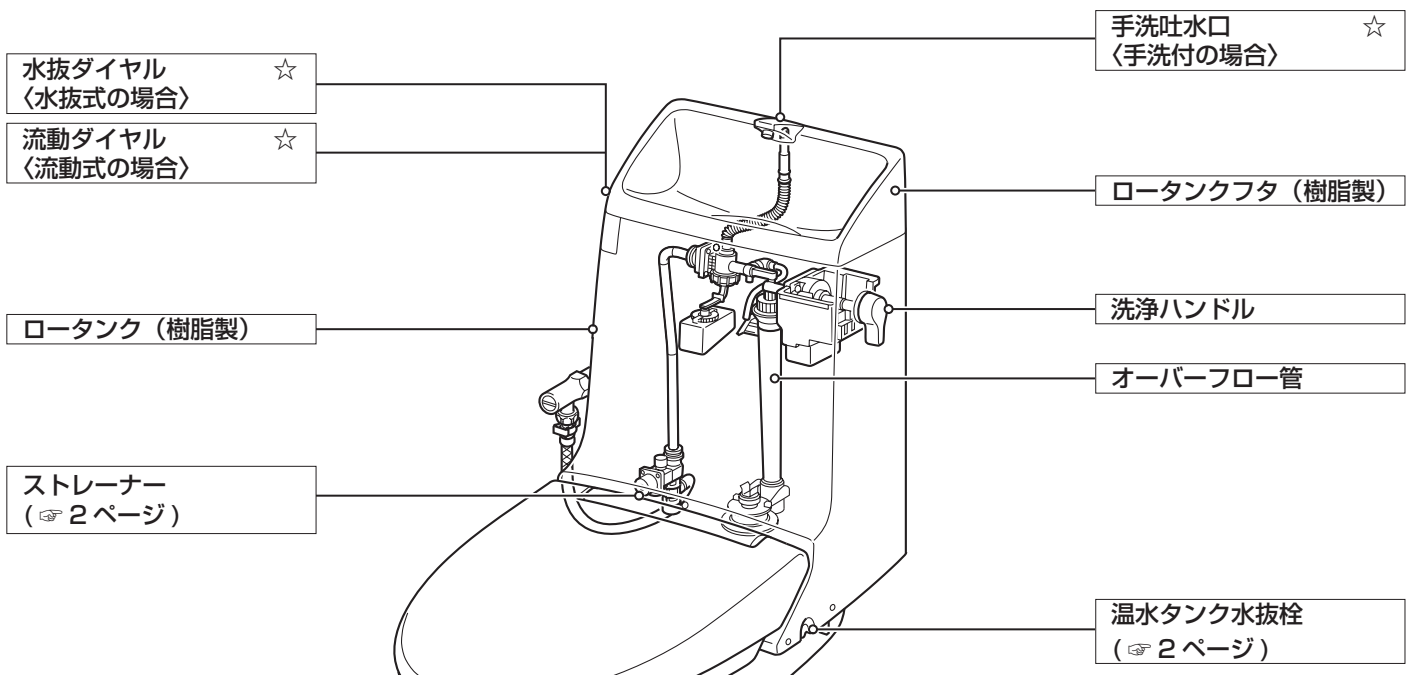
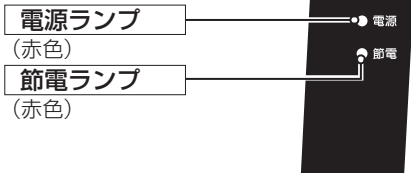
各部のなまえ

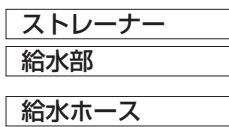
全体図

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

本体表示部（☞2ページ）
注意事項
便フタ
品番シール
止水栓
本体給水ホース
電源プラグ
ノズルシャッター
ノズル（おしり用）
ノズル（ビデ用）
アース線
便座（着座センサー機能付、裏のみ防汚）
便器
リフトアップロックレバー☆（両側にあります）
脱臭カートリッジ取付口☆（☞2ページ）

※操作は、リモコン操作のみになります。
※上図は、手洗付の場合です。

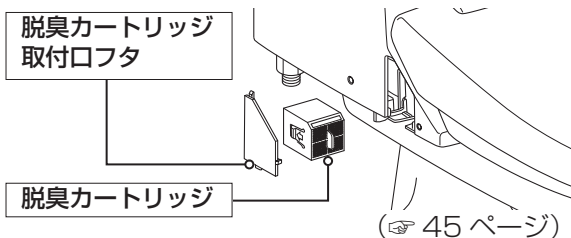
ロータンク内部

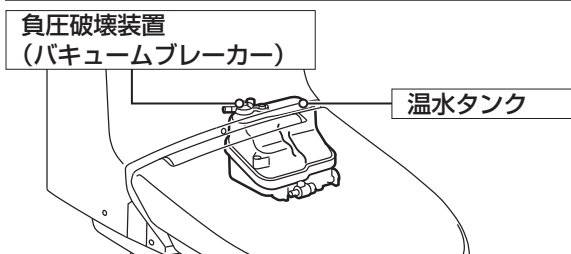
※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

本体表示部

ストレーナー

〈本体左底面〉

※ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。
※ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
外すときは少量の水がこぼれますので、布などを下に置いてください。（☞ 46 ページ）

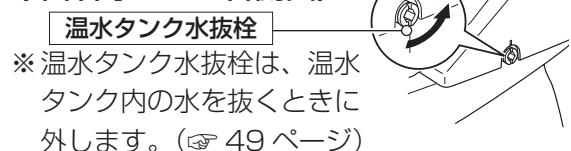
脱臭カートリッジ　☆

〈本体向かって左側面〉

（☞ 45 ページ）

※ 脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。

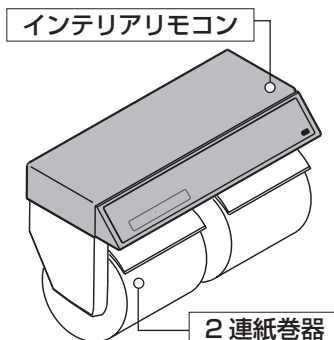
負圧破壊装置（バキュームブレーカー）

※ バキュームブレーカーは、本体に内蔵されています。
また、定期的な点検が必要です。（☞ 48 ページ）

温水タンク水抜栓

〈本体向かって右側面〉

※温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。（☞ 49 ページ）

目次

■ 最初にお読みください
○各部のなまえ …… 1
○機能の紹介 …… 5
■ 必ずお読みください
○安全上のご注意　警告 …… 7
注意 …… 10
■ 故障を防ぐためのご注意
○お取り扱い上のご注意 …… 12
■ ご使用方法
○ご使用前の準備と確認　①止水栓は開いていますか？ …… 13
②電源プラグとアース線をコンセントに接続 13
③おしり洗浄のシャワーは出ますか？ …… 14
④シャワー温度を調節 …… 15
⑤便座温度を調節 …… 15
○一般的な使い方　①便座に座ると脱臭が作動する（自動） 17
②シャワーで洗う …… 18
③便器を洗浄する …… 21
■ 便利な使い方
○節電【ワンタッチ節電（8 時間）/ スーパー節電（常時）】 …… 23
○もっと快適に　低温ヤケドを防ぐ …… 24
洗浄強さをさらに強くする …… 24
便器洗浄の開始時間を変更する …… 25
お買い上げ時の設定に戻す …… 26
変更した設定の記憶について …… 26
■ 知っておけば便利で安心
○知っておいていただきたいこと …… 27
○こんなときは …… 28
○断水したときの便器洗浄のしかた …… 29
■ お掃除・お手入れ方法 31
■ 故障かな？と思ったら
○修理を依頼する前に …… 53
■ 安全・安心にお使いいただくために …… 63
■ アフターサービス …… 67
■ 仕様 …… 69
■ 別売品のご案内 …… 71
■ 重大事故防止のためのお願い …… 73

インテリアリモコン　☆

※インテリアリモコンのご使用方法については、インテリアリモコンの取扱説明書をご覧ください。

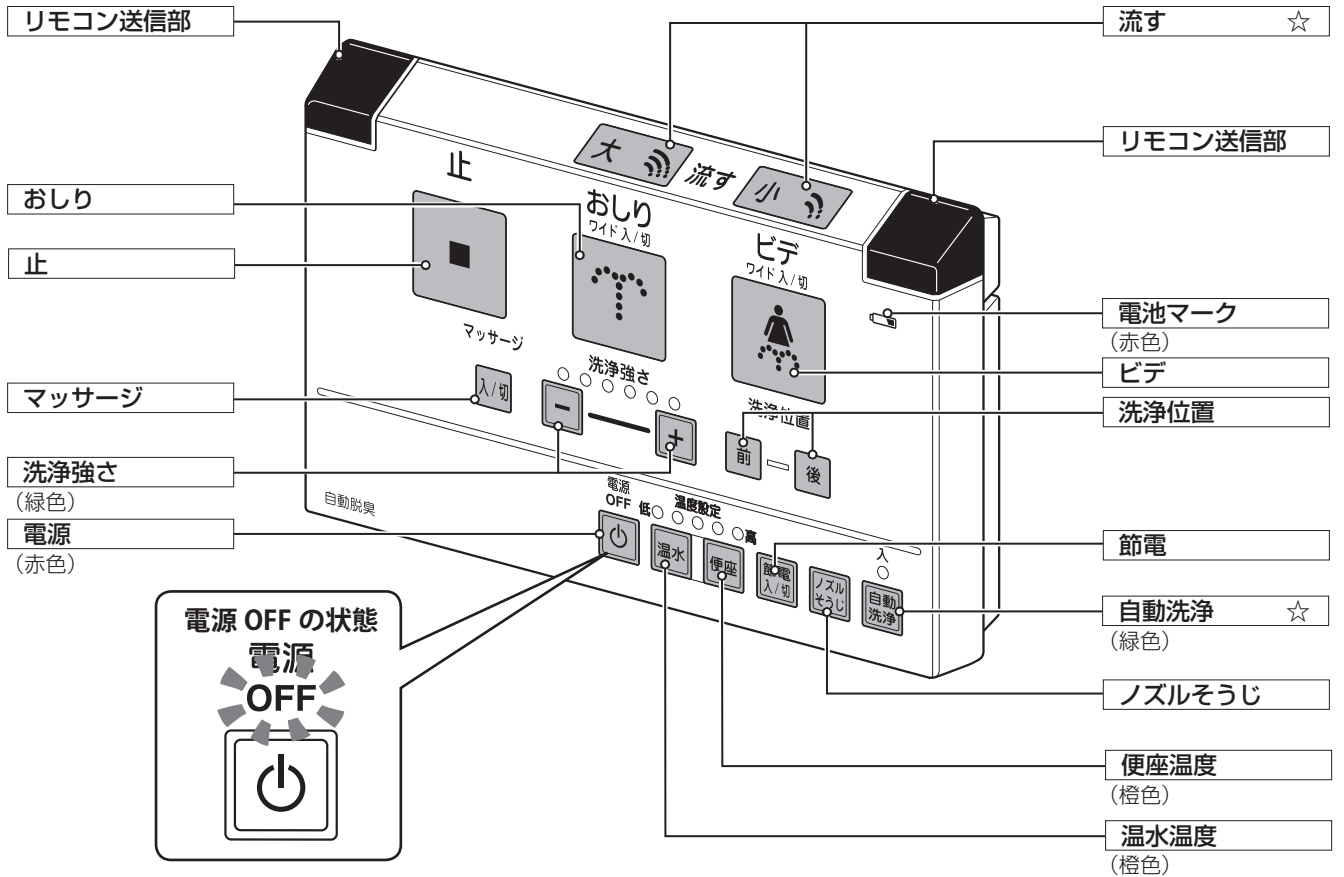
各部のなまえ

壁リモコン

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

リモコン送信部
おしり
止
マッサージ
洗浄強さ
（緑色）
電源
（赤色）

電源 OFF の状態

流す ☆
リモコン送信部
電池マーク
（赤色）
ビデ
洗浄位置
節電
自動洗浄 ☆
（緑色）
ノズルそうじ
便座温度
（橙色）
温水温度
（橙色）

（参考）
- ●リモコンの電源スイッチで電源を「入」にした場合、すべてのランプが数秒点灯します。
- ●リモコンの電源スイッチで電源を「切」にした場合、OFF ランプが数秒点灯します。
- ●リモコンの表示ランプはボタン操作後数秒で消灯します。

機能の紹介

品番は、便フタ裏の品番シール（☞ 1 ページ）に記載されています。お持ちの機能をご確認ください。

洗浄機能			DT-B283 型 DT-B253 型	DT-B282 型 DT-B252 型	DT-B281 型 DT-B251 型
おしり洗浄	☞18	シャワーに気泡を混入し、洗浄力と洗い心地を一段と向上。	○	○	○
ビデ洗浄	☞19	空気を含んだやわらかなシャワーで、やさしく広い範囲を洗浄。	○	○	○
おしりワイド洗浄	☞18	ノズルが前後に動きながら、広い範囲をしっかり洗浄。	○	○	○
おしりマッサージ洗浄	☞20	シャワーに強弱をつけながら噴出するマッサージ洗浄でさらに快適。	○	○	○
ワイドビデ洗浄	☞19	ノズルを前後に動かしながら洗浄。広い範囲をよりやさしくしっかり洗えます。	○	○	○
ノズル位置調節	☞20	ノズルをお好みの位置に前後調節できるので、より快適な洗浄ができます。	○	○	○

快適機能			DT-B283 型 DT-B253 型	DT-B282 型 DT-B252 型	DT-B281 型 DT-B251 型
フルオート便器洗浄	☞21	便座から立ち上がるだけで自動的に便器を洗浄。流し忘れもなくし、ハンドル操作が不要で、腰への負担がありません。	○	—	—
リモコン便器洗浄	☞21	手元のリモコン操作で便器を洗浄でき、腰への負担がありません。	○	—	—
自動脱臭	☞17	便座に座ると自動で脱臭。	○ （W パワー脱臭）	○ （パワー脱臭）	—
暖房便座	—	寒い日でも、おしりあたたか、いつも快適。	○	○	○
スローダウン便座	—	便座と便フタがゆっくり閉まって、閉まる時の音を軽減します。	○	○	○
便座ヒーターオートOFF	☞24	便座に座るとヒーター OFF。低温やけどを防止します。	○	○	○
着座センサー	☞27	人が座らないと作動しないので、安心です。	○	○	○
さらっと便座（オプション）	☞34	べたつき感の少ない快適な座り心地の便座です。	○	○	—
リモコン	—	使い勝手を第一に考え、よく使うボタンは大きく使いやすく。薄型サイズでさまざまな空間にもなじみやすいデザインです。	○	○	○
インテリアリモコン対応（オプション）	☞2	紙巻器と一体になったインテリア性と操作性を重視したリモコンです。	○	○	—
点字対応	—	目の不自由な方に配慮した設計で、スイッチパネルは点字対応です。	○	○	○

○：保有機能あり　－：保有機能なし

清潔機能			DT-B283型 DT-B253型	DT-B282型 DT-B252型	DT-B281型 DT-B251型
まる洗い洗浄	－	勢いのよい水流で、グルッと強力に洗い流します。	○	○	○
お掃除リフトアップ	☞37~38	お掃除ができなかった便器とのすき間をラクラクお掃除。	○ DT-B2 **G型、DT-B2 **GP型 DT-B2 **GU型のみ	○	－
女性専用レディスノズル	－	女性にやさしいビデ専用ノズル。	○	○	○
ノズルシャッター	☞40	使わないときはノズルを収納。男子小用時などの汚れの心配もなく、ノズルはいつも清潔。スッキリ形状でふきやすく着脱もできるので、お手入れ簡単です。	○	○	○
ノズルお掃除モード	☞42	座っていない時にスイッチを押すと、お湯を出さずにノズルが伸び出し、お掃除できます。	○	○	○
ノズルそうじ	☞41	着座時にスイッチを押すと、たっぷりのお湯でノズルを洗浄します。	○	○	○
ノズルオートクリーニング	☞18~19	使用前後にノズルをたっぷりのお湯で自動的に洗います。	○	○	○
ノズル先端着脱	☞43~44	ノズルの先が簡単に取り替えられます。キレイなノズルのシャワーでリフレッシュ、清潔新提案です。	○	○	○
キレイ便座	－	つぎ目をなくし、さらに便座の裏の防汚処理でお掃除ラクラク。	○	○	○
便フタワンタッチ着脱	☞35~36	便フタがカンタンに取り外せるので、これまでお掃除できなかった部分も、お掃除ラクラク。	○	○	○
プロガード	－	プロガードコーティングで表面ツルツル、キレイ長持ち。汚れもスルッと落とせます。	○ プロガード仕様便器は品番の最初に「G」が付いています。 （例：GBC-XXXX）	○	○
ハイパーキラミック（ISO抗菌準拠）	☞33	キズ、汚れに強く、銀イオンパワーで細菌の繁殖も抑えます。	○	○	○
抗菌樹脂（ISO抗菌準拠）	☞33	銀イオンパワーで細菌の繁殖も抑えます。	○	○	○

省エネ機能			DT-B283型 DT-B253型	DT-B282型 DT-B252型	DT-B281型 DT-B251型
超節水ECO5	－	大洗浄5L、小洗浄3.8Lの超節水仕様。	○ DT-B2＊＊U型、DT-B2＊＊GU型のみ（☞69ページ）	○	○
スーパー節電	☞23	一度設定すれば、使用していないときは常に便座温度と湯温を下げて節電。	○	○	○
ワンタッチ節電（8時間）	☞23	セットしてから8時間、温水と暖房便座を切にし、その後設定温度に戻ります。就寝前や外出時間にかしこく節電できます。	○	○	○
電源スイッチ	－	スイッチ操作でこまめに節電が可能です。	○	○	○

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	注意
この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。	この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

⚠ 警告

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
※ 感電の恐れがあります。

水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。

禁止

●AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※ 火災の原因になります。

禁止

電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、狭み込んだりしない。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。

禁止

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
※ 感電・火災の原因になります。

アース接続

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※ 感電などの原因になります。

指示実行

電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って抜差しを行うとプラグやコードが破損し、火災や感電の恐れがあります。

指示実行

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて乾いた布でふき取る。
※ 電源プラグにたまったホコリにより火災の恐れがあります。

指示実行

電源プラグは根元まで十分差し込む。
※ 感電・火災の恐れがあります。

指示実行

シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める。
※ 感電・火災・室内浸水の恐れがあります。

指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

	禁止	指示実行
この表示は「注意しなさい！」の記号です。（左記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）	この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。	この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

⚠ 警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

長時間使用するときは便座温度を「切」にする。

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

電池は以下のことを守り、正しく使用する。

- ⊕⊖を正しく入れる。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出す。
- 電池を破棄するときは、テープなどで絶縁を行う。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

- 乳幼児の手の届く場所には置かない。

※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流す。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗う。

※ 失明の恐れがあります。医師に相談してください。

禁止

電池を取り扱うときは、以下のことはしない。

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しない。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しない。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れない。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

水場使用禁止

バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。

※ 感電・火災の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。
(☞ 50 ページ)
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

⚠ 注意

指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。

※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

指示実行

クリップは給水ホースに、確実にはまっていることを確認する。

※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。

禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

水道水以外に接続しない。

※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

禁止

便フタや本体の上に乗らない。

※ 破損してケガをする恐れがあります。

禁止

止水栓に手をかけたり、乗ったりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

お掃除のときなどに、クリップに衝撃を与えたり、引っ掛けない。

※ クリップの破損などにより給水ホースが外れ、室内浸水の原因になります。

火気禁止

タバコや灰皿などの火気類を近づけない。

※ 火災の恐れがあります。

接触禁止

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部には絶対に触れない。

※ 破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

禁止

便フタにもたれない。

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意

便器に熱湯を注がない、また衝撃を与えない。

※ 破損部でケガをすることがあります。
※ 破損や漏水の恐れがあります。

〈脱臭付の場合〉
脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れない。

※ ケガの恐れがあります。

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認する。

※ 部品の劣化・摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害の恐れがあります。

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜く。（☞ 49 ページ）

※ 凍結破損により火災・室内浸水の恐れがあります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症などをおこす恐れがあります。

お掃除のときには必ず電源プラグをコンセントから抜く。

※ 感電の恐れがあります。
（ノズル掃除を使用する場合は、電源を入れた状態で行ってください。）

次のような方が使用されるときは、周りの方が転倒に注意する。

- お子さま
- お年寄り
- ご自分で座ることや立ち上がることができない方

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

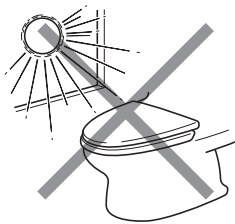
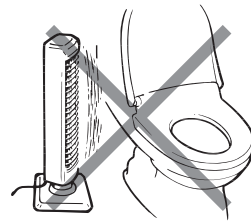
●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。

※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

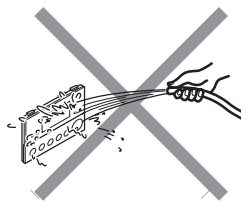
●タンク手洗部に芳香洗浄剤や薬品、石けんなどを置いたりタンク内部に入れたりしない。
●タンクの清掃に、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤を使用しない。

※ 漏水や止水不良、作動不良の原因になります。

お取り扱い上のご注意

直射日光が当たらないようにしてください。
※ プラスチック部が変色することがあります。
リモコンや人体検知センサーの作動不良の原因になります。

シャワートイレ本体にストーブやヒーターなどを近づけすぎないでください。
※ 変色や故障の原因になります。

便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※ 割れたり漏電など故障の原因となることがあります。

トイレットペーパー以外の紙を使用したり、便鉢に配管が詰まるような異物を落とさないでください。
誤って落とした場合は、水を流す前に拾いだしてください。

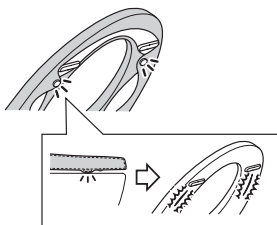
リモコンに水や洗剤をかけないでください。
※ 故障の原因になります。

万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。
詰まったまま水を流さないでください。
※ 便器から汚水があふれて、床を汚すことがあります。

プラスチック部にトイレ用消臭剤をかけないでください。
かかった場合は、すぐにふき取ってください。
※ 光沢がなくなることがあります。

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※ 故障の原因になります。

不適切な便フタカバー・便座カバーを取り付けないでください。
※ 他社市販品のご使用にあたっては、当社では責任を負いかねます。お客さまの責任でご判断ください。
※ 便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れる場合があります。
※ 着座センサーにカバーが掛かり、着座センサーが入りっぱなしになります。これにより脱臭ファンが回りっぱなしになったり、便座が冷たくなることがあります。
※ カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくる場合があります。

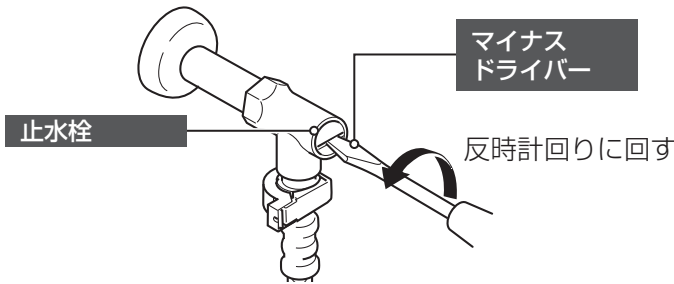
本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
詳しいお手入れ方法は 31 ページをご覧ください。
※ キズがつき光沢がなくなることがあります。

〈手洗鉢付の場合〉
手洗鉢にトイレットペーパーやゴミなどを流さないでください。
また、ぞうきんやモップなどを洗わないでください。
※ 漏水や止水不良の原因になります。

汚物の大きさ、量、比重の違いやトイレットペーパーの量、種類によっては、1 回の洗浄で完全に流れきらずに残ることがあります。
大洗浄で 1 度に流すトイレットペーパーの量は 5m 程度を目安にしてください。
トイレットペーパーの量については JIS の規格を参考にしております。

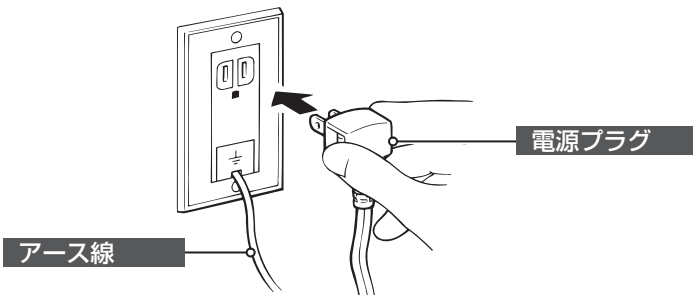
バリウムなど水に溶けにくく、重いものは 1 度の洗浄では流しきれない場合があります。
完全に流せない場合は便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。

ご使用前の準備と確認

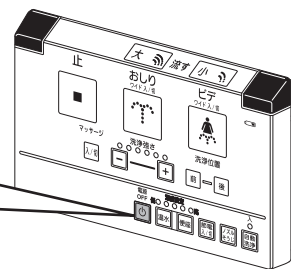
STEP 1 止水栓は開いていますか？

※「止水栓」が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
※開いている場合は調節してありますので、必ず元の位置に戻してください。
※止水栓を閉めすぎると、ロータンクへの給水時間が長くなったり、手洗い水が出ないことがあります。
※ロータンクへの給水中、便器の中に少しずつ水が流れる場合があります。

STEP 2 電源プラグとアース線をコンセントに接続

●「アース線」をコンセントのアース端子に接続する

●「電源プラグ」をコンセント（AC100V）に差し込む

●「電源ランプ」の点灯を確認する

※本体表示部の「電源ランプ」が点灯します。
点灯しない場合は、リモコンの【電源】を押してください。

●本体表示部

[注意]
●電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

STEP 3 おしり洗浄のシャワーは出ますか？

● **腕まくりをし、肌で便座に触れる**

※人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。
おしり、ビデ洗浄は、着座していないと作動しません。

● **【おしり】を押す**

● **ノズルの先端に手をかざして**
シャワーを受け止める

※温水タンクが満水でない場合、約 1 分かかることがあります。
※このとき、準備動作のため、ノズル付近から水が出ます。

● **【止】を押して、**
シャワーを止める

※一般的な使い方（17 ページ以降）をご覧になって他の機能も確認してください。

⚠ 警告

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※感電などの原因になります。

⚠ 警告

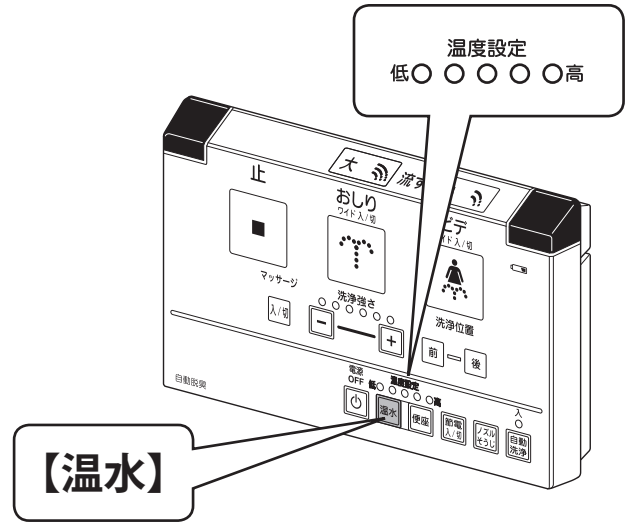
●AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※火災の原因になります。

ご使用前の準備と確認

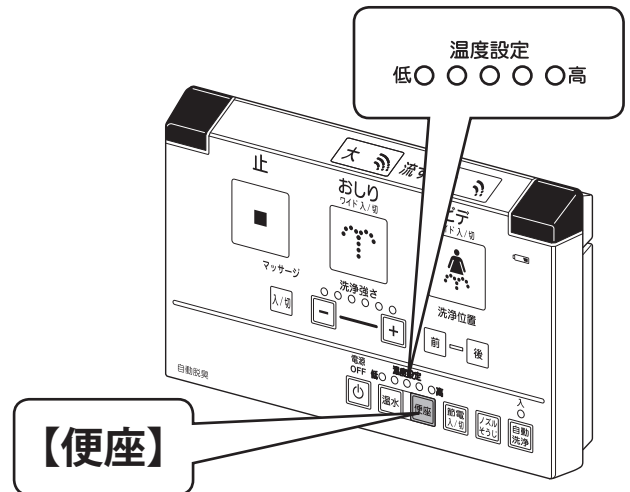
シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

STEP 4
シャワー温度を調節

●【温水】を押す

※ 温水温度は 6 段階（「切（水温）」、「低（約32℃）」～「高（約 40℃）」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。
※ スイッチを押すたびに、表示ランプが切り替わります。
※ 表示ランプは数秒後に消灯します。

STEP 5
便座温度を調節

●【便座】を押す

※ 便座温度は 6 段階「(切 (室温)」、「低 (約28℃)」～「高 (約 36℃)」に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。
※ スイッチを押すたびに、表示ランプが切り替わります。
※ 表示ランプは数秒後に消灯します。

⚠警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

（参考）
●シャワーと便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
●座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。（☞ 24 ページ）

❖表示ランプについて
スイッチを押さない時間が数秒続くと、ランプが消灯します。設定中にランプが消灯した場合は、もう一度スイッチを押して設定をしてください。

一般的な使い方

便座に座ると脱臭が作動する（自動）

※この機能のついていない機種があります。
5 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

DT-B283 型 /B253 型の場合（W パワー脱臭）

1 座ると通常脱臭

脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

2 立ち上がると強力脱臭

脱臭ファンが能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。

3 脱臭停止

脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

DT-B282 型 /B252 型の場合（パワー脱臭）

1 座ると脱臭

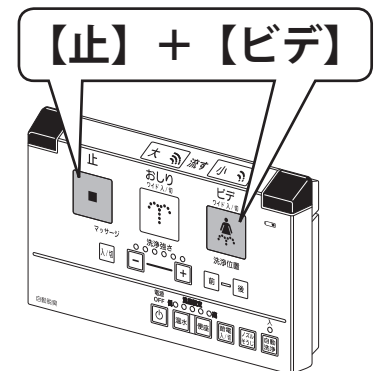
脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

2 脱臭停止

脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

■自動脱臭を使用しない場合

【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※セット完了時、本体表示部の電源ランプが 1 回点滅します。
※再び、使用する場合も【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押します。

（参考）

●シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジがついています。（☞ 45 ページ）

STEP 2

シャワーで洗う

おしり洗浄▶ワイド洗浄

局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。
ノズルの先端からシャワーが出て、おしりを洗浄します。

おしり洗浄

● 【おしり】を押す

● 止めるときは【止】を押す

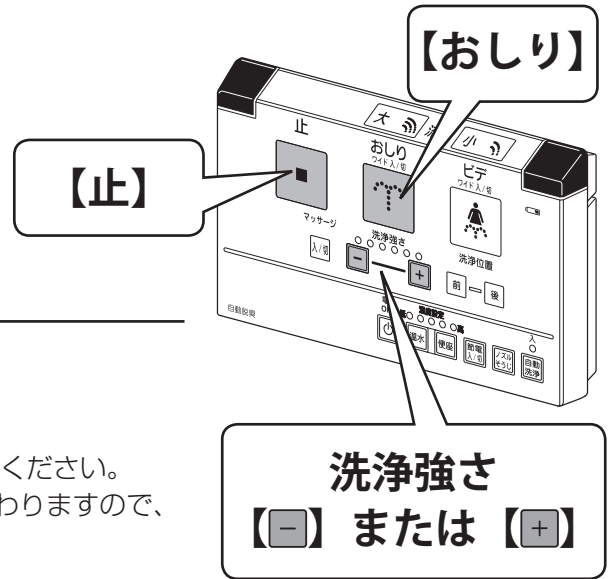
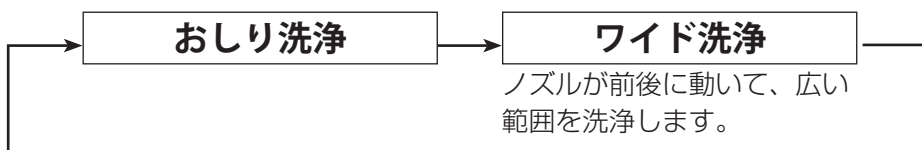
洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの
【−】または【+】を押す

※ 洗浄強さは 6 段階あります。お好みの強さに調節してください。
※ 洗浄強さはスイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますので、お好みの強さに調節してください。
※ 表示ランプは数秒後に消灯します。

ワイド洗浄をするとき

おしり洗浄中に、もう一度【おしり】を押す

※ おしり洗浄中、【おしり】を押すたびに切り替わります。
※ 洗浄を止め、もう一度【おしり】を押すと「おしり洗浄」から始まります。

おしり洗浄 → ワイド洗浄 →（おしり洗浄へ戻る）

ワイド洗浄：ノズルが前後に動いて、広い範囲を洗浄します。

[注意]
● 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
● 便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
● 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
● 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

(参考)
● リモコンの表示ランプは数秒後に消灯します。おしり洗浄をする前に【止】を押すと、ランプが点灯し、洗浄強さの設定を確認できます。
● おしり洗浄の強さを一番強くしてもまだ弱いと思われる方のために、シャワーの「強」設定をさらに強くする機能が付いています。
(☞ 24 ページ)

❖おしり洗浄は
2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

❖ノズルオートクリーニングについて
おしり洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

❖ノズル付近から出る水は
シャワー使用時とその前後や温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。(☞ 28 ページ)

一般的な使い方

ビデ洗浄▶ワイド洗浄

局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
ノズルの先端からシャワーが出て、女性のデリケートな部分を洗います。

ビデ洗浄

● 【ビデ】を押す

● 止めるときは【止】を押す

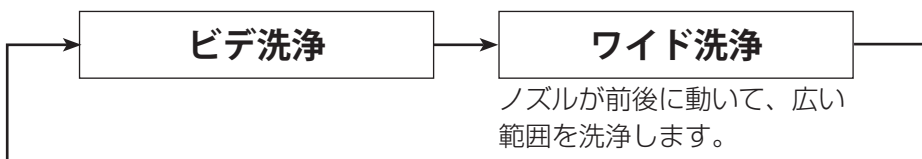
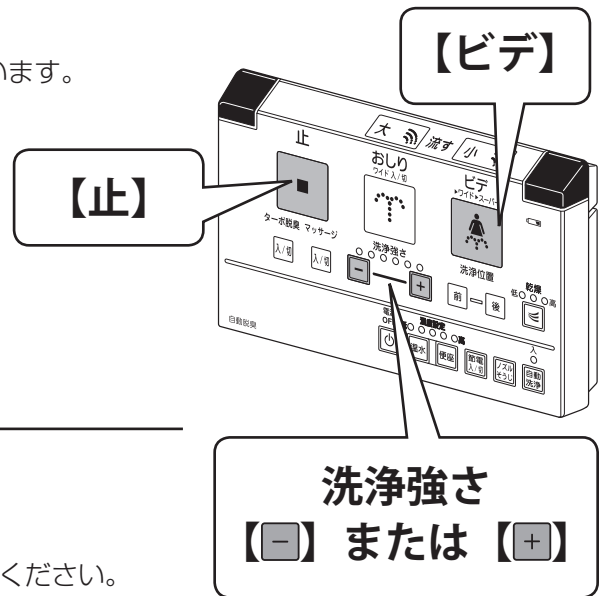
洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの【－】または【＋】を押す

※ 洗浄強さは 6 段階あります。お好みの強さに調節してください。
※ 洗浄強さはスイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますので、お好みの強さに調節してください。
※ 表示ランプは数秒後に消灯します。

洗浄モードを切り替えるとき

ビデ洗浄中に、もう一度【ビデ】を押す

※ ビデ洗浄中、【ビデ】を押すたびにが切り替わります。
※ 洗浄を止め、もう一度【ビデ】を押すと「ビデ洗浄」から始まります。

[注意]
● 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
● 便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
● 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
● 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

(参考)
● リモコンの表示ランプは数秒後に消灯します。ビデ洗浄をする前に【止】を押すと、ランプが点灯し、洗浄強さの設定を確認できます。
● ビデ洗浄の強さを一番強くしてもまだ弱いと思われる方のために、シャワーの「強」設定をさらに強くする機能が付いています。
(☞ 24 ページ)

❖ビデ洗浄は
2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

❖ノズルオートクリーニングについて
ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

❖ノズル付近から出る水は
シャワー使用時とその前後や温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。(☞28ページ)

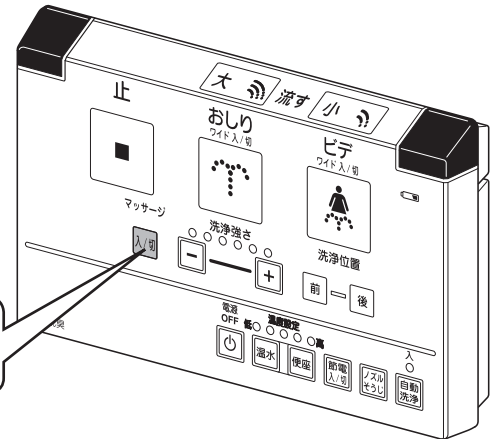
マッサージ洗浄

おしり洗浄中、洗浄の強さに強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。
※ビデ洗浄にはマッサージ機能はありません。

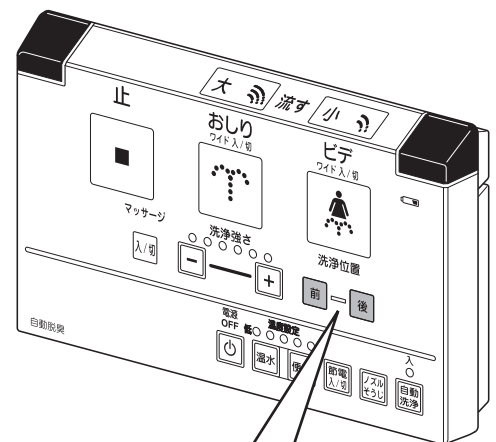
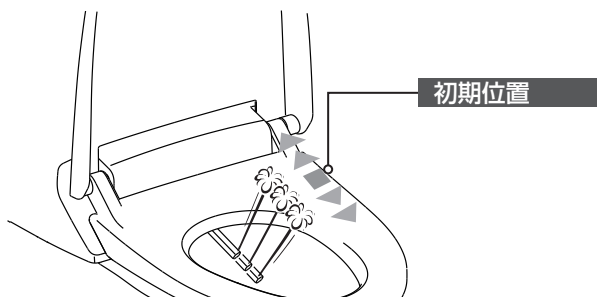
● おしり洗浄中に【マッサージ】を押す

● マッサージ洗浄を止めるときは、もう一度【マッサージ】を押す

❖マッサージ洗浄は
マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

洗浄位置

おしり洗浄・ビデ洗浄中に、洗浄位置の前・後を調節することができます。

● 洗浄位置の【前】または【後】を押す

※洗浄位置は５段階に調節することができます。
　初期位置、前２段、後２段の計５段階です。
※便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。

STEP 3

便器を洗浄する

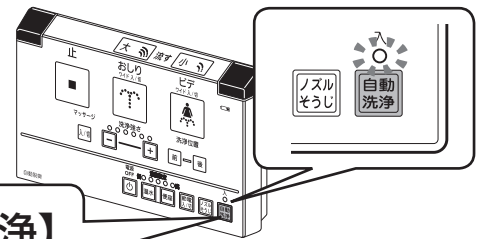
フルオート便器洗浄

立ち上がると、自動的に便器洗浄を行います。
※お買い上げ時は「入」になっています。
※この機能のついていない機種があります。
　5 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

設定を切り換えるとき

【自動洗浄】を押す

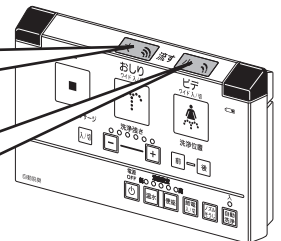
【自動洗浄】を 1 回押すと、自動洗浄の設定を確認できます。設定を変更するには 5 秒以内にもう 1 回押してください。

自動洗浄ランプが点灯 ･･･ 自動で便器洗浄をする
↓↑
自動洗浄ランプが消灯 ･･･ 自動で便器洗浄をしない

（参考）
●「入」のとき自動洗浄ランプは数秒後に消灯します。
●【止】を押すと、自動洗浄の設定を確認できます。
（おしり / ビデ洗浄中および電源 OFF 中は除く）

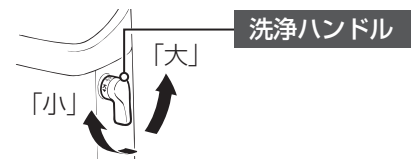
リモコン便器洗浄

※この機能のついていない機種があります。
　5 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

● 大便時は流す【大】を、小便時は流す【小】を押す

※大便時に流す【小】を押すと、汚物が流れないことがあります。

手動洗浄

● 大便時は「洗浄ハンドル」を奥に回す、小便時は「洗浄ハンドル」を手前に回す

※大便時に「小」側に回すと、汚物が流れないことがあります。

[注意]
●断水した場合は「断水したときの便器洗浄のしかた」に従って便器内を洗浄してください。（☞ 29 ページ）
●女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、リモコン「大」洗浄または手動「大」洗浄にて再度洗浄してください。
●一回目の便器洗浄から間を置かずに二回目を行うと、洗浄ができない場合があります。
このようなときは、しばらく間を置いてから手動洗浄にて洗浄を行ってください。

❖洗浄のタイミングは
フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約 2 秒、約 10 秒、約 15 秒後に切り替えることができます。（☞ 25 ページ）

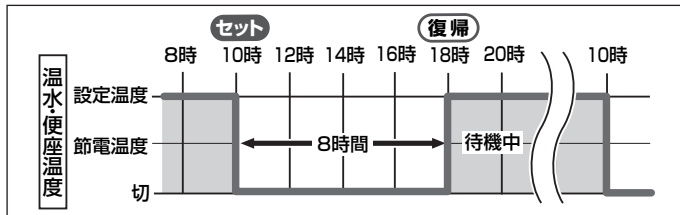
❖手洗付タンクは
手を洗うときは流すスイッチを押して便器洗浄と同時に手を洗ってください。

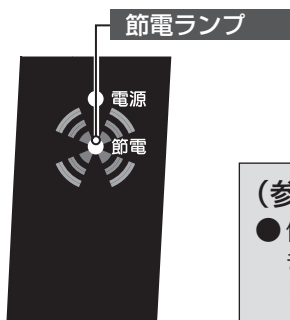
❖大洗浄と小洗浄の区別は
フルオート便器洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」・「50 秒未満：小洗浄」を行います。
（ただし 50 秒未満でもおしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。）

節 電【ワンタッチ節電（8 時間）/ スーパー節電（常時)】

節電機能にはワンタッチ節電（8 時間）とスーパー節電（常時）の 2 種類があります。スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電（8 時間）を併用することで、効果的な節電ができます。お買い上げ時は「切」の状態になっています。

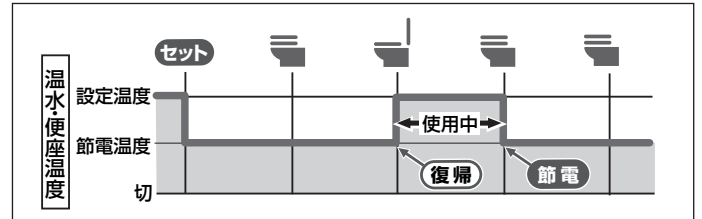
ワンタッチ節電（8 時間）

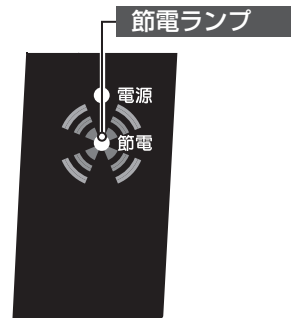
長時間使用しない夜間など、スイッチを押してから 8 時間、温水と便座のヒーターを「切」にして消費電力を抑える節電機能です。8 時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻し、24 時間ごと（毎日同じ時間から）に繰り返します。

※ 8 時間経過すると、自動的に機能は元の状態に戻り「待機中」になります。「待機中」は、本体表示部の節電ランプは点灯から、1 回ずつの点滅に切り替わります。

● 本体表示部

（参考）
● 停電時や電源プラグを抜いたときは、ワンタッチ節電の設定がリセットされます。

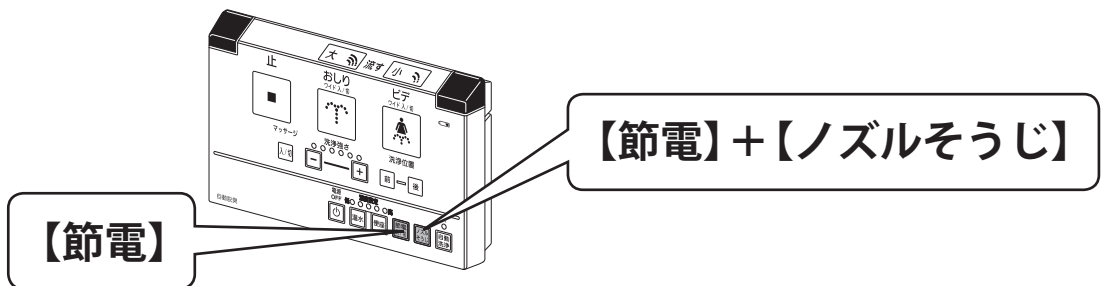
1 【節電】を押す
※ 本体表示部の節電ランプが点灯します。

スーパー節電（常時）

使用していないとき、温水と便座の温度を下げて消費電力を抑える節電機能です。

※ 使用していないときは常に節電しています。

● 本体表示部

※ スーパー節電が作動しているときは、本体表示部の節電ランプが 2 回ずつ点滅します。

※ ワンタッチ節電と併用した場合、ワンタッチ節電中（8 時間）は本体表示部の節電ランプが点灯し、ワンタッチ節電待機中（16 時間）は節電ランプが 2 回ずつ点滅します。

1 【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ 本体表示部の節電ランプが点滅します。

（参考）
● 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。
● 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

ワンタッチ節電を解除するとき

【節電】を押す
※ 本体表示部の節電ランプが消灯します。

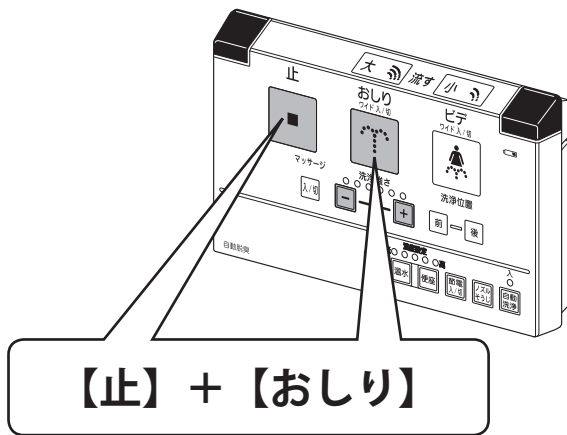
スーパー節電を解除するとき

【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ 本体表示部の節電ランプが消灯します。

もっと快適に

低温ヤケドを防ぐ（便座ヒーターオート OFF）

便座を暖めているとき（便座ヒーター入）に座ると、自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。お買い上げ時は設定されていません。

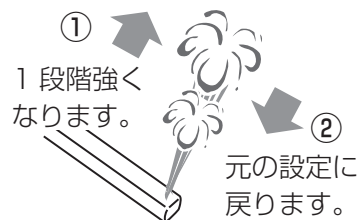
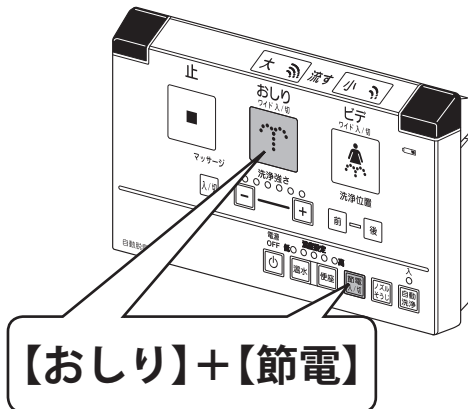
【止】と【おしり】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが 1 回点滅します。

※ この機能を使用中に連続で使用すると便座がぬるく感じるときがあります。
※ 立ち上がると自動的に復帰して、設定した便座温度まで暖めます。

元の設定に戻すとき

【止】と【おしり】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが 2 回点滅します。

洗浄強さをさらに強くする

おしり洗浄･ビデ洗浄の洗浄強さ「強」を、さらに 1 段階強くすることができます。お買い上げ時は設定されていません。

【おしり】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが 1 回点滅します。

［注意］
● 洗浄強さを強くした場合、お湯切れが早くなります。

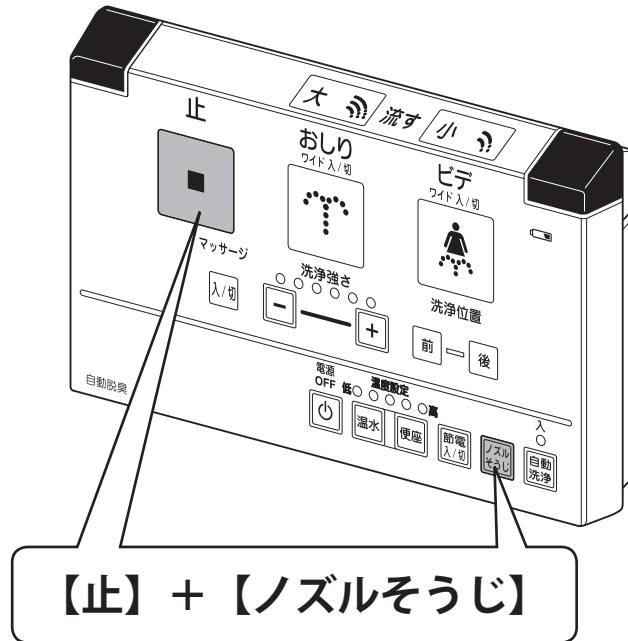
元の設定に戻すとき

【おしり】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが 2 回点滅します。

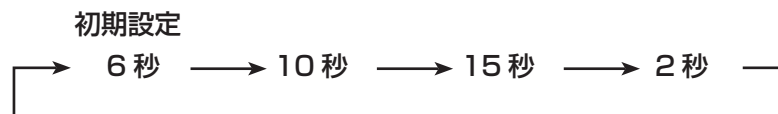
便器洗浄の開始時間を変更する〈フルオート便器洗浄付の場合〉

フルオート便器洗浄は、立ち上がってから約 6 秒後に、自動的に便器洗浄を開始する機能です。この開始時間を切り替えることができます。お好みに合わせて切り替えてください。お買い上げ時は、約 6 秒後に設定されています。

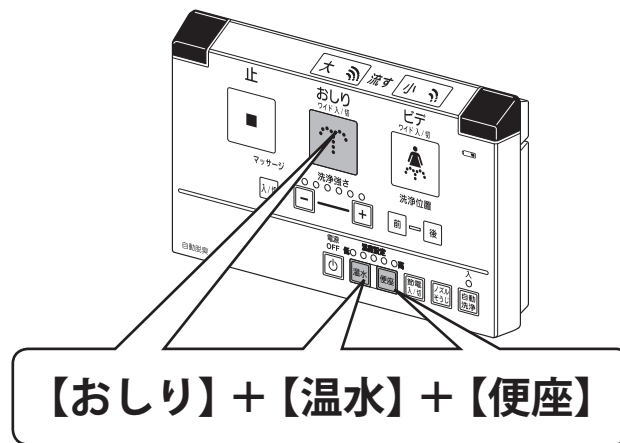
【止】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが 1 回点滅します。
※ 初期設定に戻ると本体表示部の電源ランプが 2 回点滅します。

同じ操作をするたびに、開始時間が、6 秒→ 10 秒→ 15 秒→ 2 秒→ 6 秒…の順に切り替わります。（下図参照）

初期設定

→ 6 秒 → 10 秒 → 15 秒 → 2 秒 ─┐（6 秒に戻る）

お買い上げ時の設定に戻す

「便利な使い方」の操作で本商品の設定を変更した場合でも、すべての機能をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

【おしり】と【温水】と【便座】を同じタイミングで 2 秒以上押す

■お買い上げ時の設定は

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。

機能説明		お買い上げ時の設定
脱臭	自動脱臭	入
節電	ワンタッチ節電	切
	スーパー節電	切
洗浄強さ	「強」をさらに 1 段階強くする	切
温水温度		低
便座温度		低
便座ヒーターオート OFF		切
フルオート便器洗浄		入
		立ち上がってから 6 秒後に開始

変更した設定の記憶について

「便利な使い方」などで設定を変更した場合、コンセントを抜いたり、電源スイッチを「切」にしても変更した設定は記憶されています。（ワンタッチ節電は電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（☞ 23 ページ））

知っておいていただきたいこと

温水になるまで約 10 分かかります。

「おしり洗浄またはビデ洗浄」を長時間使用すると、シャワー温度がしだいに低下し、最後は水になります。温水になるまで約 10 分間かかります。

シャワーと便座の温度は一定に調節しています。

シャワーは、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

温水タンク内制御温度

切 (水温)、低（約 32℃）～高（約 40℃）

便座は、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

便座温度

切 (室温)、低（約 28℃）～高（約 36℃）

着座センサーで誤操作を防止します。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。

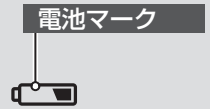
※ 便座に座らないと［おしり洗浄］、［ビデ洗浄］の各機能が作動しません。
※ 便座に便座カバー・便フタカバーを付けた場合、不適切なカバーをご使用になると着座センサーが入りっ放しになったり、また入らなかったりすることがあります。
※ 便座に座っているときに停電し、そのままの状態で停電が直った場合、おしり洗浄などの操作ができない場合があります。そのような場合はいったん便座から立ち上がり、1 ～ 2 秒たってから再度座ってください。

便座・便フタはゆっくり閉じます。

便座・便フタには、誤って閉じたときなど、衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるように［スローダウン機構］が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

電池消耗お知らせサインが付いています。

リモコンの「電池マーク」点滅は、電池消耗をお知らせするサインです。お早めに新しい電池に交換してください。
(☞ 47 ページ)

※ 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。（信号が弱くなるため）
※ トイレのドアを開けたままや「電池マーク」点滅時にリモコンのスイッチを押すと、まれに信号が本体に届かず作動しない場合があります。

ノズルの付近から出る水は？

シャワー使用時とその前後、および温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが､これは機能上必要なもので､故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。

省エネのために。

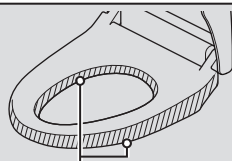
- ●使用後は便フタを閉じる
- ●便座カバーを取り付ける
- ●便座や温水の設定はむやみに高温にしない
- ●季節の気温に合わせてこまめに温度調節をする
- ●節電機能のある機種ではできるだけ節電機能を利用する
- ●長時間の外出など、不在時はこまめに電源を切る

※ 凍結の恐れがある場合は、電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておく必要があります。「凍結しそうなときは」をご参照ください。(☞ 50 ページ)

ラジオやテレビに雑音が入る。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

便座の側面が冷たい。

便座の暖房機能は便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触ると冷たく感じることがあります。

使う洗剤は？

便座や便フタなどのプラスチック部のお手入れには、中性洗剤などプラスチックに害のない洗剤を使用してください。
また、便器部（陶器）のお手入れには、塩素系・酸性洗剤・消毒剤を使用しないでください。

結露が出た。

室温と便器･本体･止水栓の表面温度差や湿度により、便器・本体・止水栓の表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふき取ってください。
また、別売品として、結露防止カバー（止水栓用）(品番:CWA-106)を用意しています。(☞71ページ)

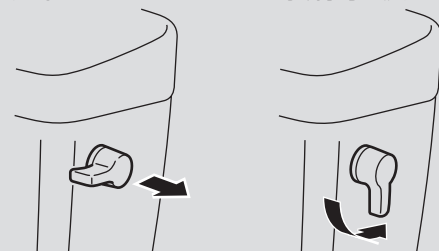
※ 結露水は床のシミや破損の原因になります。
※ 本便器は結露しにくい構造になっていますが、室温などの条件により結露する場合があります。

小用時には。

- ●洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。座ってご使用いただければ、小便の飛散は軽減できます。
- ●着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。

洗浄ハンドルが途中で止まったら。〈フルオート便器洗浄付の場合〉

自動洗浄の作動中に停電すると、洗浄ハンドルが途中で止まる可能性があります。そのままでは洗浄水が流れっぱなしになってしまいますので、洗浄ハンドルを強制的に元の位置に戻してください。
※ 戻すときに強い音が鳴りますが、異常ではありません。

知っておけば便利で安心

断水したときの便器洗浄のしかた

バケツ１杯（5～６Ｌ）の水を、水飛びに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。
最後に、便器内の水位が通常の高さになるように３～４Ｌの水を注いでください。
※うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。
※小洗浄も同じように流してください。

断水したときの便器洗浄

[注意]
- ●バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すときなど、床に水がこぼれないように十分に気をつけてください。
- ●コンセント部分に水がかからないようにご注意ください。

お掃除・お手入れ

お手入れの効果を正しくあげるため、汚れや場所にあった洗剤、道具を使いましょう。
また、少しでも楽にお掃除・お手入れしたい方にはおすすめの便利グッズもあります。
ただし、使ってはいけない道具・洗剤もありますのでご注意ください。

お掃除道具

種　類		使う場所
柔らかい布	使い古したタオル、着古したＴシャツなどを適当なサイズに切ってお使いください。	便座・便フタ カバー類・便器部
スポンジ	小さく、できるだけ柔らかなもの。	ノズル先端部
トイレ用ブラシ（研磨材なし）	便器の内側掃除の必需品。 ※研磨材付は陶器表面をキズつける恐れがあるので、避けてください。	便器部
ゴム手袋	手アレ防止に。水や洗剤が入らないように折り返して使いましょう。	−
歯ブラシ	隠れた部分や細かいところに大活躍。使い古しのものを。	脱臭カートリッジ
プラスチック消しゴム	さらっと便座の汚れ落としに便利です。 ※砂消しゴムはキズつきの原因となりますので、使用しないでください。	さらっと便座

洗剤

種　類		使う場所
トイレ用中性洗剤	便器（陶器部）の黄ばみや黒ずみを落とします。	陶器部
研磨材なしの洗剤		

便器はプロガード加工です。〈プロガード仕様の場合〉

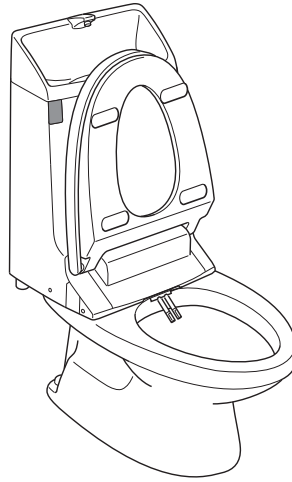
プロガードの効果を長持ちさせるために、
次の洗剤・道具は使用しないでください。
●アルカリ性洗剤「塩素系」
●研磨材入りの洗剤
●研磨材付きのブラシ

LIXILのお掃除グッズ

種　類		使う場所
トイレ用おそうじティッシュ〈CWA-36-4SET〉	プラスチックを傷めず、除菌効果に優れています。使用後、便器にそのまま流せます。	便座・便フタ・カバー類
シャワートイレお掃除クリーナー〈CWA-20〉	プラスチックを傷めないスプレー式。シュッと吹きかけふき取るだけ。脱臭剤配合で、便器にも使えます。	便座・便フタ カバー類・便器部
お掃除ブラシ〈CWA-48・CWA-48-A〉	便器のプロガード表面をキズつけません。便鉢の裏側まできれいにできます。 ※ CWA-48-A はケースがつきません。	便器部

お掃除の場所と汚れの種類

便フタ・便座・カバー	33 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

便座と便フタのすき間	35 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

ノズルシャッター	40 ページ
水アカ・小水のシミ	

ノズル	41 ページ
水アカ・小水のシミ	

便器	39 ページ
カビ・バクテリア・尿石	

[注意]
● お手入れをするときは、必ず【電源】を押して、本体表示部の電源ランプ（☞ 2 ページ）が消灯していることを確認してください。
※ ノズルシャッターやノズルの掃除を行う場合は、電源を入れた状態で行ってください。

⚠警告

水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。

⚠注意

指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。
※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

□お掃除・お手入れ方法

○便座・便フタのお掃除 ………………… 33
○便フタを外して掃除する ……………… 35
○本体を浮かせて掃除する【お掃除リフトアップ】 ………………………………………… 37
○手洗鉢・便器のお掃除 ………………… 39
○ノズルシャッターを清潔に …………… 40
○ノズルのお掃除 ………………………… 41
○ノズルの先端を取り替えたい ………… 43
○脱臭効果が弱くなったら ……………… 45
○ 給水時間が長くなったら / シャワーが弱くなったら 46
○リモコンの電池マークが点滅したら … 47
○定期的な点検のお願い ………………… 48
○長期間使用しないときは ……………… 49
○凍結しそうなときは …………………… 50
○引越しなどで本体を移設するときは … 52

便座・便フタのお掃除

便座・便フタ・カバー類（プラスチック部）のお掃除

● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

● お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。（☞ 71 ページ）

水ぶきするのはなぜ？

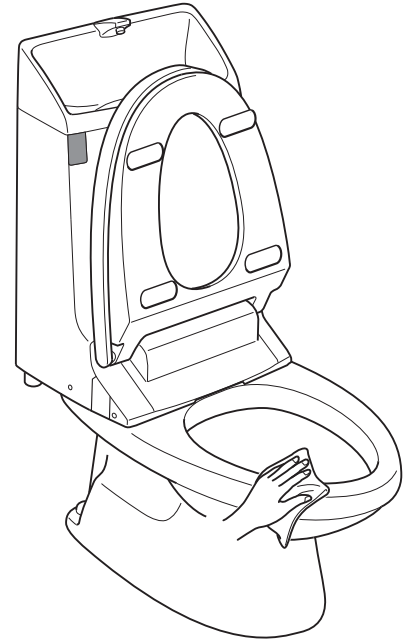
汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

使用できる洗剤は？

当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」をおすすめします。
市販の便座用洗剤も使用できますが、中には適さない商品もあります。
ご不明な点は、洗剤メーカーにご確認してからご使用ください。
※別売品の購入方法については「別売品のご案内」（☞ 76 ページ）をご覧ください。

[注意]
- 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
  ※キズつきの原因になります。

すき間もお掃除がしたい

本体を浮かせて便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 37 ページ）
便フタを簡単に外せます。（☞ 35 ページ）

❖抗菌部位について
ノズル・便座・便フタ・カバーには抗菌プラスチックを、リモコン操作部には抗菌シートを採用しています。

❖キレイ便座について
キレイ便座は、汚れのたまりやすい便座のつなぎ目をなくした、お掃除のしやすい便座です。

❖ KILAMIC 抗菌商品について
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染などが防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
  KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

便座・便フタ・カバー類（プラスチック部）のお掃除

さらっと便座をお使いのお客さまへ

当社純正の「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品：CWA-20）をおすすめします。（☞ 71 ページ）

なぜお掃除クリーナー？

お掃除クリーナーなら、シュッと吹きかけて
ふき取るだけなので、プラスチックを傷めません。
※「シャワートイレお掃除クリーナー（CWA-20）」のお求めは 71 ページをご覧ください。

プラスチック消しゴムも効果的！

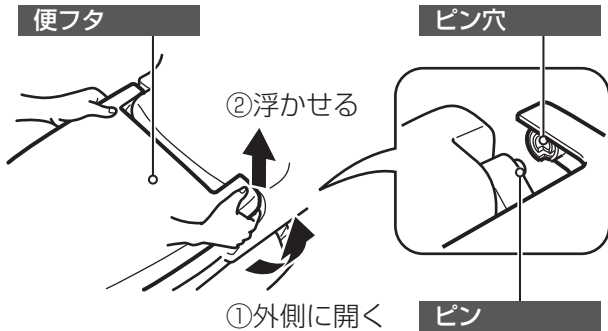
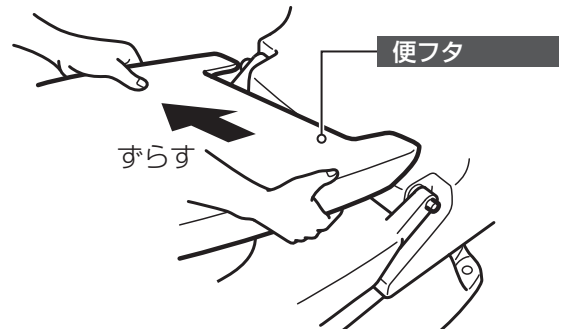
ただし砂消しゴムは使用しないでください。
※ キズつきの原因になります。

❖さらっと便座について
さらっと便座は、通常の便座に比べ、立ち上がるときのはりつく感じが少なく、さらさらした肌触りの便座です。
通常の便座と比べると表面がマット調（つや消し）になります。

便フタを外して掃除する

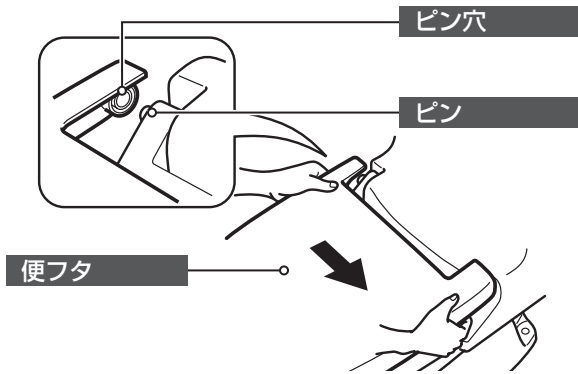
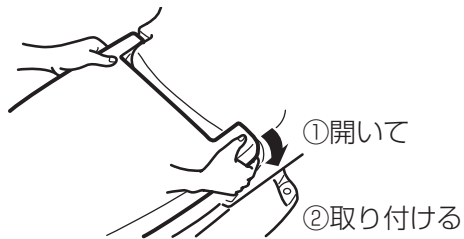
便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部を掃除するときや便フタを丸洗いするのに便利です。

便フタの取外し

1 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピンから外して浮かせる

2 便フタを左側にずらし、便フタを外す

[注意]

- 便フタに無理な力を加えないでください。
  ※ 破損する恐れがあります。
- 便フタを外した状態で便座を開かないでください。
  ※ 便座カバーや便座がキズついたり破損する恐れがあります。
- 便フタを外したまま使用しないでください。

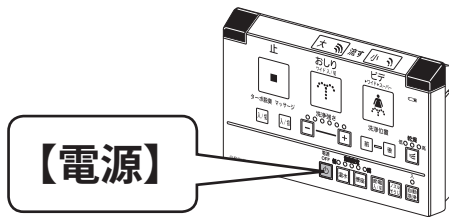
便フタの組付け

1 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込む

2 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付ける

本体を浮かせて掃除する【お掃除リフトアップ】

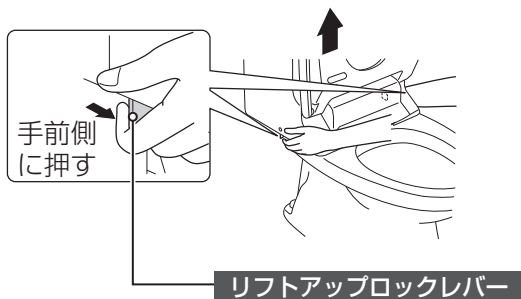
本体（便座とともに）を浮かすことができますので、普段手の届かない本体と便器の間が掃除できます。
※この機能のついていない機種があります。
　5ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

本体の浮かせかた

1 手洗吐水口の水が止まっていることを確認する〈手洗付の場合〉

2【電源】を押して「切」にし、本体表示部の電源ランプの消灯を確認する

3 便フタ・便座を開く

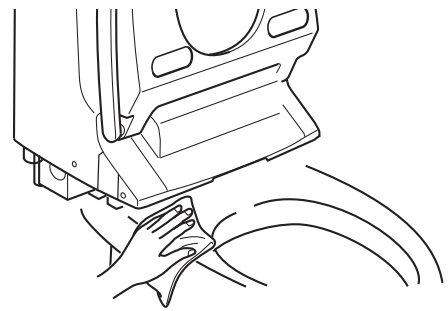
4 本体両側のリフトアップロックレバーを手前側に押しながら、静かに持ち上げる

※本体は約5cm持ち上がります。引き上げが不十分な場合、本体が下降します。

[注意]
- 無理に持ち上げないでください。
  ※故障の原因となります。
- 本体を浮かせたまま使用しないでください。
  ※故障の原因となります。
- 操作はゆっくり行ってください。
- 無理な姿勢で持ち上げないでください。

すき間のお掃除

便器はプロガード加工です。〈プロガード仕様の場合〉
（☞ 31 ページ）

● 柔らかい布やスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯でふいてください。

※詳しくは、39ページを参照してください。

[注意]
- 便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を戻してください。
  ※洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
- 本体を上から押さえると降りてくる可能性があります。
- 本体を大きくゆらさないように注意してください。
  ※吐水口から水が出る可能性があります。〈手洗付の場合〉
- ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしないでください。
  ※ノズルが引っ込まなくなり、故障の原因になります。
  もし、誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。

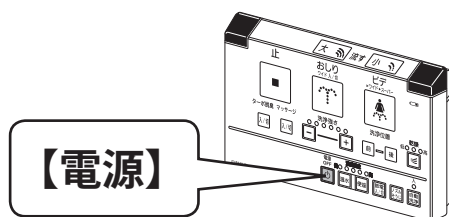
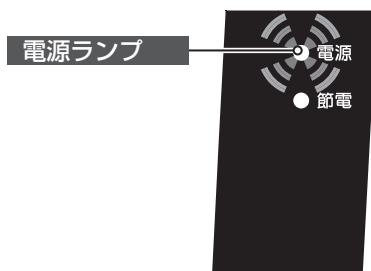
（参考）
- 掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」（☞ 40 ページ）をご覧ください。

本体の戻しかた

1 本体を上から軽く押さえ、“ カチッ ” と音がするまで押し下げる

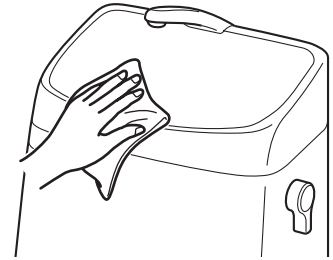
※ 本体が元の位置に戻ります。

[注意]
- 無理に押さないでください。
  ※ 故障の原因になります。
- リフトアップロックレバーが元の位置まで入っていることを確認してください。

2【電源】を押して「入」にし、電源ランプの点灯を確認する

●**本体表示部**

手洗鉢・便器のお掃除

手洗鉢のお掃除〈手洗付の場合〉

● **手洗鉢は、柔らかい布やスポンジで水ぶきをしてください。**

[注意]
- 手洗鉢にトイレットペーパーやゴミなどを流さないでください。
  また、ぞうきんやモップなどを洗わないでください。
  ※漏水や止水不良の原因になります。
- 固いスポンジなどでお手入れしないでください。
  ※キズつきの原因になります。
- 強くゆすらないでください。
  ※手洗い水が出る場合があります。

便器（陶器部）のお掃除

便器はプロガード加工です。
〈プロガード仕様の場合〉（☞ 31 ページ）

● **柔らかいブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。**

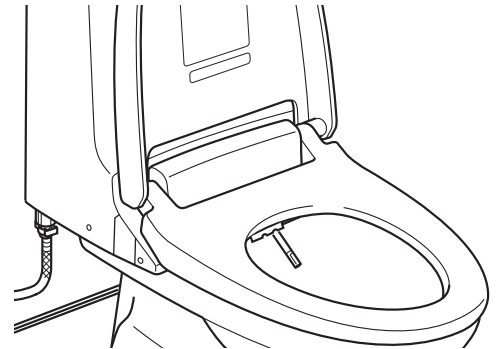
● **当社純正の「お掃除ブラシ」（別売品）をおすすめします。**
（☞ 71 ページ）

[注意]
- 便器のお手入れに塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤は、使用しないでください。
  ※気化したガスにより、故障・破損の原因になります。
- 熱湯はお使いにならないでください。
  ※便器が破損することがあります。
- 研磨材入りの洗剤やブラシを使用しないでください。〈プロガード仕様の場合〉
  ※プロガードの効果が早くなくなります。

本体を浮かせて便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 37 ページ）
便フタを簡単に外せます。（☞ 35 ページ）

ノズルシャッターを清潔に

● **柔らかい布やスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯でふいてください。**

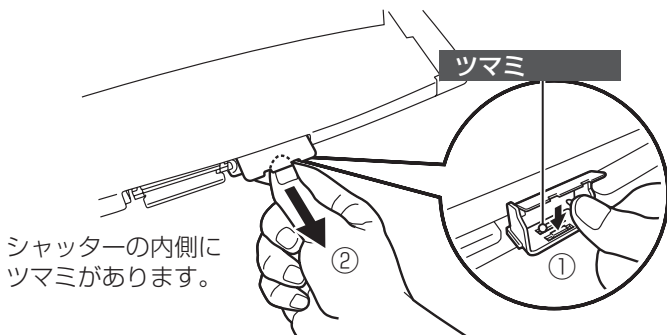
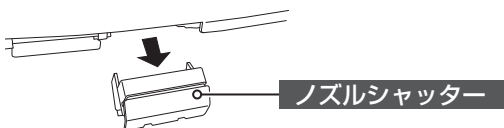
［注意］
● 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
　※ キズつきの原因になります。

ノズルシャッターを取り外し、掃除することができます。

ノズルシャッターの取外し

1【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉を「切」にする

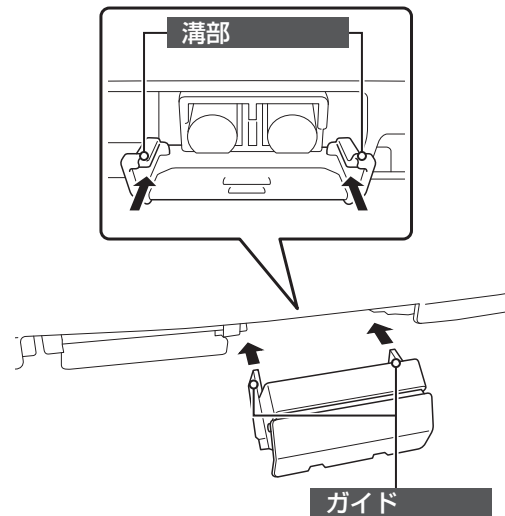
※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

2 便フタ・便座を開く

3 ノズルシャッターを開き、中にあるツマミをつまむ

4 ツマミをつまんだまま、下方に引っ張り、取り外す

5 取り外したノズルシャッターを掃除する

ノズルシャッターの取付け

1 ノズルが出ていない状態で、本体側の溝部にノズルシャッターのガイド（2ヵ所）を合わせて押し込む

※ ノズルが出ている場合は、止スイッチを押して戻します。

［注意］
● “カチッ”と音がするまで押し込んでください。
　また、ノズルシャッターが正しく取り付けられたことを確認してください。
● ノズルシャッターには、上下の向きがあり、決まった方向にしか取り付けできません。
● 無理な力を加えないでください。
　※ 破損する恐れがあります。
● ノズルシャッターの上面は押さないでください。
　※ 破損する恐れがあります。

斜線部を押さない

ノズルのお掃除

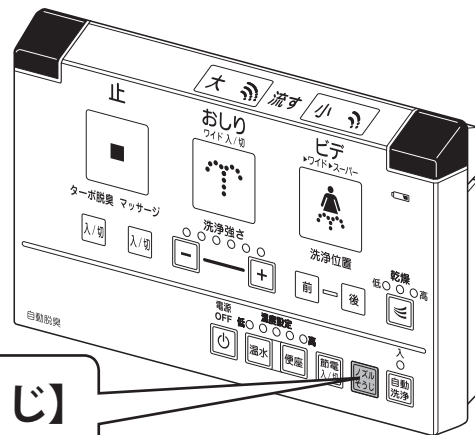
ノズルの掃除には、以下の方法があります。

- 使用中（着座中）にお好みでノズルを洗うことができます。**“リモコンノズル洗浄”**
- 日頃の掃除時、しつこい汚れは、ノズルを電動で動かし、スポンジなどで掃除ができます。

使用中（着座中）のノズル掃除

● 使用中（着座中）にノズルを洗いたい。（リモコンノズル洗浄）

1【ノズルそうじ】を押す

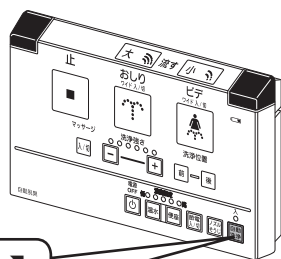
※ノズルが本体に収納されたまま、約 3 秒間洗浄します。

❖オートクリーニング機能について

おしり洗浄およびビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄するオートクリーニング機能が付いています。

お手入れ時のノズル掃除

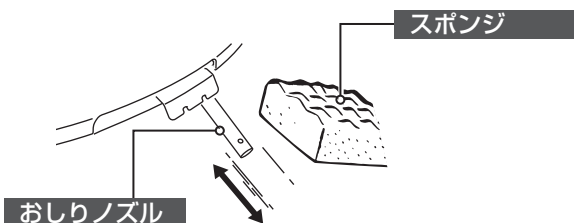
● お手入れ時、ノズルをしっかり掃除したい。

1【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉を「切」にする

※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

2 便フタ・便座を開く

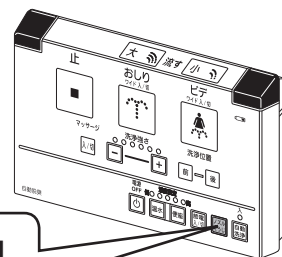
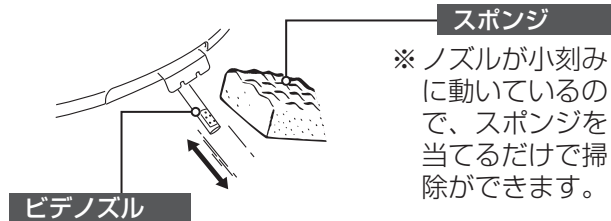
3【ノズルそうじ】を押す

※ノズル付近から約３秒間水が出た後、おしりノズルが伸びてきて小刻みに前後に動きます。このとき、シャワーは噴出しません。

4 おしりノズルを掃除する

※ノズルが小刻みに動いているので、スポンジを当てるだけで掃除ができます。
※約１分たつと、ノズルは自動で戻ります。ノズルが戻った後、もう一度【ノズルそうじ】を押すと、再びおしりノズルが伸びます。

（参考）
● 掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」(☞ 40 ページ) をご覧ください。

5【ノズルそうじ】を押す

※おしりノズルが戻り、替わってビデノズルが伸びてきます。

6 ビデノズルを掃除する

※ノズルが小刻みに動いているので、スポンジを当てるだけで掃除ができます。

※約１分たつと、ノズルは自動で戻ります。ノズルが戻った後、【ノズルそうじ】を２度押すと、再びビデノズルが伸びます。

7【ノズルそうじ】を押す

※ビデノズルが戻ります。

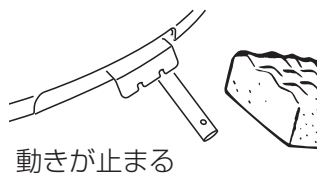
［注意］
● リモコンの【ノズルそうじ】を押すときは、誤って【止】を押さないように注意してください。
　※ノズルの動きが止まったり、ノズルが戻ったりします。
● ノズルに強い力をかけないでください。
　※故障の原因になります。
● ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしないでください。
　※ノズルが引っ込まなくなり、故障の原因になります。もし、誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10 秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。

ノズルの動きを止めるとき

1【止】を押す

※動きが止まります。

2 もう一度、【止】を押す

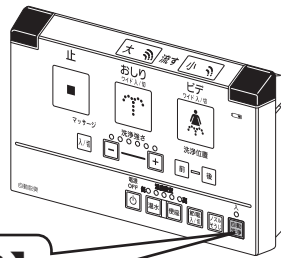
※ノズルが戻ります。

※動きが止まった状態で約５分たつとノズルは自動で戻ります。この場合、ノズルが戻った後に、もう一度【ノズルそうじ】を押すと、再びおしりノズルが伸びます。

ノズルの先端を取り替えたい

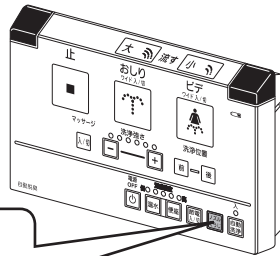
ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換することができます。
※別売品の購入方法については「別売品のご案内」(☞ 71 ページ)をご覧ください。

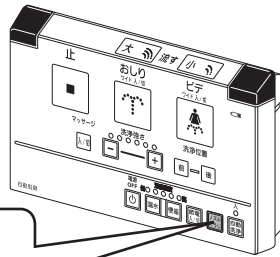
ノズル先端の取外し

1【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉を「切」にする

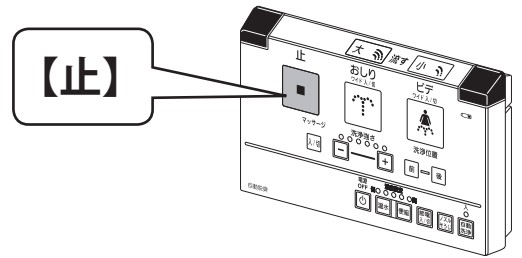
※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

2 便フタ・便座を開く

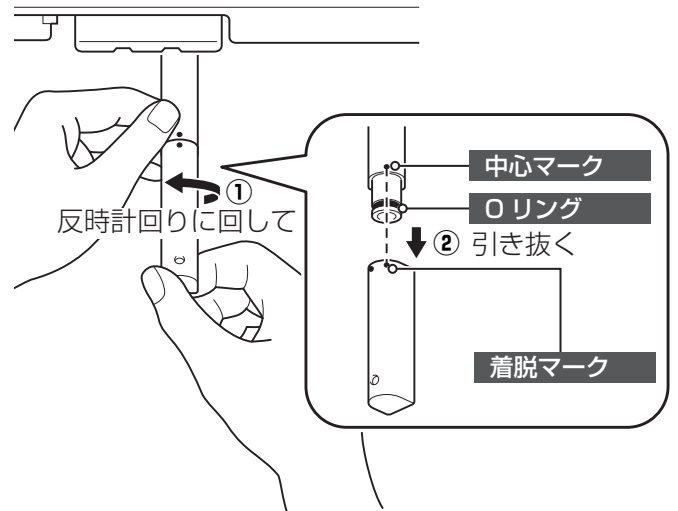
3【ノズルそうじ】を押す

※おしりノズルが前に出てきて前後に動きます。
※ノズル付近から水が出ます。

〈ビデノズルを交換したい場合〉
もう一度、【ノズルそうじ】を押す

※ビデノズルが前に出てきて前後に動きます。

[注意]
● 着座中は、ノズル先端の交換をすることができません。

4【止】を押して、ノズルの動きを止める

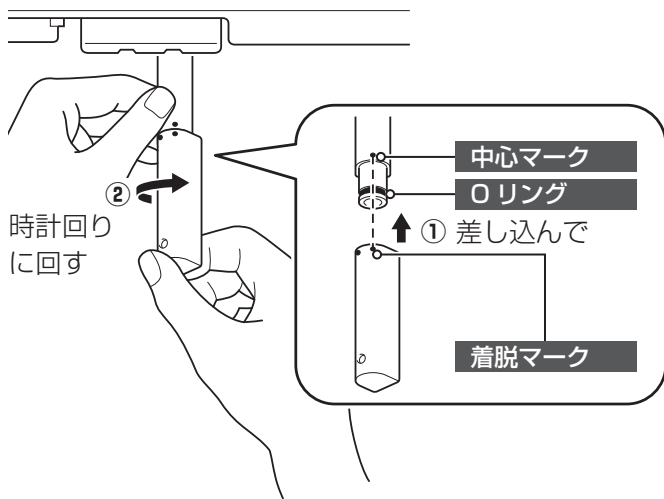
※ノズルは約 5 分間動きを止めますので、この間にノズルを交換します。
(ノズルは約 5 分後に本体に戻ります。)

5「ノズル先端」を反時計回りに回して「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体中心マーク」を合わせ、引き抜く

※少しノズルを引っ張り出し、ノズルの奥側を手で押さえて取り外してください。

※ノズルが停止している間に「ノズル先端の取付け」(☞ 44 ページ)の手順に従って新しいノズルに交換してください。

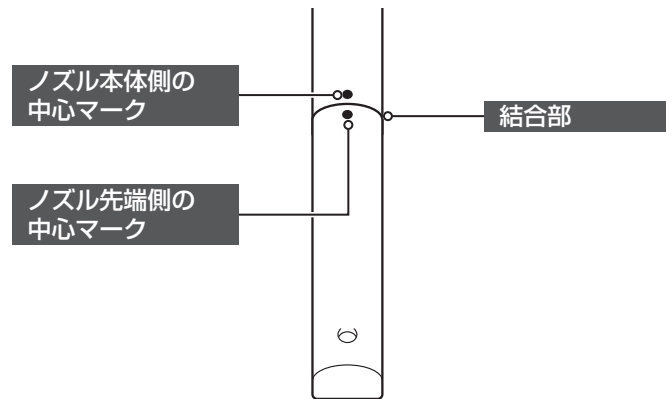
ノズル先端の取付け

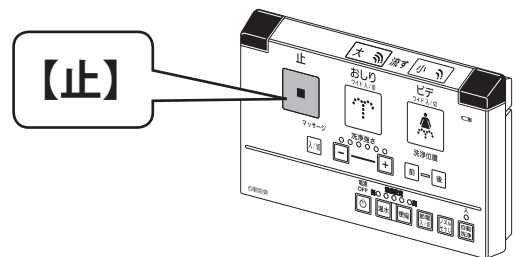
※ ノズル本体が引っ込んでしまった場合は、もう一度「ノズル先端の取外し」2～5の操作をしてノズルを出してください。

1「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体の中心マーク」を合わせて、奥までしっかり差し込み、ノズル先端を動かなくなるまで時計回りに回す

※ ノズルの奥側を手で押さえて取り付けてください。

[注意]
- ノズルは、おしり用とビデ用があります。お間違えのないよう注意してください。
- ノズル先端は、穴が開いている方が上になるように取り付けてください。
- O リングをキズつけないよう注意してください。
  ※ 漏水の原因になります。

2「結合部」を確認する

※ ノズル本体側の角とノズル先端側の角が合っていること、また「結合部」が平らになっていることを確認します。

[注意]
- 取付後、ノズル本体側の角とノズル先端側の角が合っていること、また「結合部」が平らになっていることを確認してください。
  ※ 故障する恐れがあります。またシャワー洗浄の角度が変わってしまう恐れがあります。

3【止】を押して、ノズルを戻す

脱臭効果が弱くなったら〈脱臭付の場合〉

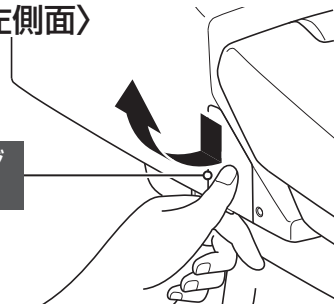
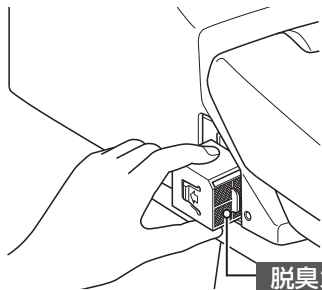
「脱臭カートリッジ」にホコリなどが付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、お手入れしてください。
※ この機能のついていない機種があります。
　5 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

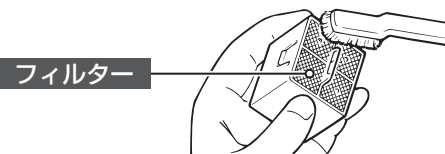
脱臭カートリッジのお手入れのしかた

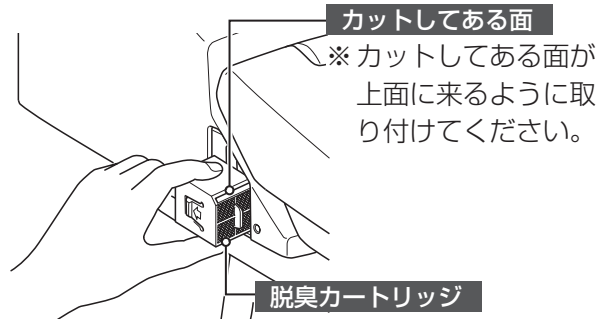
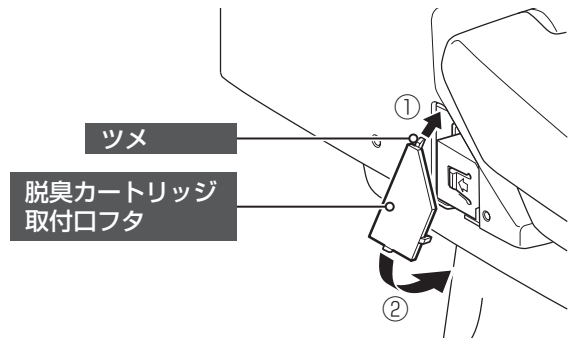
1 電源プラグをコンセントから抜く

2「脱臭カートリッジ取付口フタ」を外す

※ 脱臭カートリッジ取付口フタの下側を持ちながら外してください。

〈本体向かって左側面〉

3「脱臭カートリッジ」を取り出す

4 フィルターのホコリなどを歯ブラシなどで取り除く

[注意]
●「脱臭カートリッジ」本体は水洗いできません。

5「脱臭カートリッジ」を取付口に差し込む

6「脱臭カートリッジ取付口フタ」上部のツメをはめてから取り付ける

7 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠注意

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れない。
※ ケガの原因になります。

■再び使用するとき
　必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
　(☞ 13 ページ)

■「脱臭カートリッジ」のお取替えについて
　お手入れしてもまだニオイが気になる場合、「脱臭カートリッジ」の寿命ですので、新品と交換してください。
　「脱臭カートリッジ」の寿命は、通常使用で約 7 年です。
　※「脱臭カートリッジ」の寿命は、4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）の平均使用時間を基本としています。
　※ お取替用の「脱臭カートリッジ」のお求めは、「別売品のご案内」(☞ 71 ページ) をご覧ください。

■使用開始日の記入
　シャワートイレ使用開始日を日付記入欄に記入し、「脱臭カートリッジ」交換目安としてください。また、交換後は新しい「脱臭カートリッジ」にある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

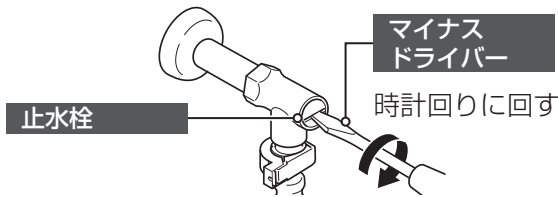
シャワートイレ使用開始日をご記入ください。
年　　　月　　　日

給水時間が長くなったら / シャワーが弱くなったら

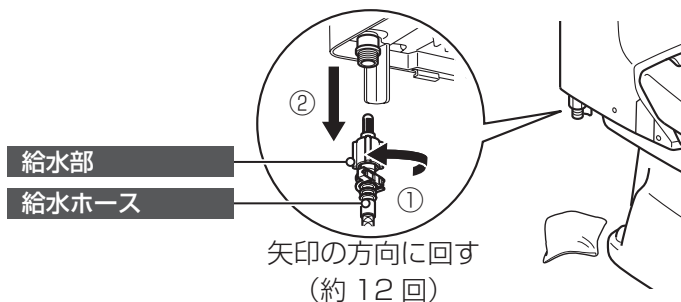
長期間使用して便器洗浄やシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

ストレーナーのお掃除のしかた

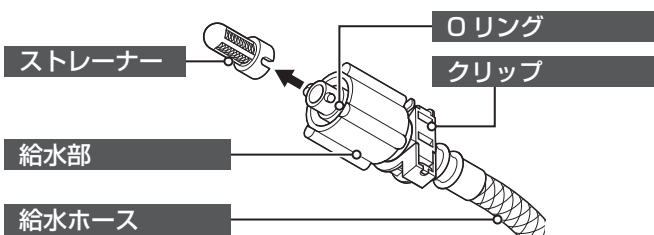
1「止水栓」を閉めて、給水を止める

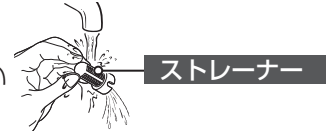
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

2 肌で便座に触れ【おしり】または【ビデ】を押してシャワーを出す、または、便器洗浄をして給水ホースの残圧を抜く

3 ロータンク左下にある「給水部」を回し、給水ホースごと取り外す

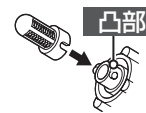
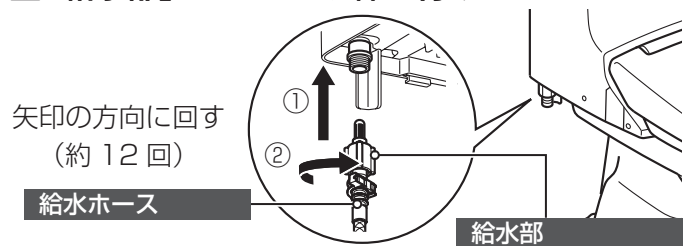
※ このときコップ半分ほどの水がこぼれますので、布などを下に置いてください。

[注意]
- 給水部を外す際に、給水ホースが折れないように注意してください。
- 給水部を外す際は、クリップを持たないでください。

4 給水ホース内の水を完全に抜く

5「給水部」から「ストレーナー」を取り外す

6「ストレーナー」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く

※ 流水または洗面器などに水を溜めて水洗いしてください。
※ 水洗いで取れないゴミは、歯ブラシなどを使い洗い落としてください。

ストレーナー

[注意]
- 針状のものでゴミを取らないでください。
- ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりはまっていることを確認してください。

7 ストレーナーを給水部の凸部に合わせて取り付ける

8「給水部」をしっかり締め付ける

[注意]
- 締付後、再度増締めをし、緩みがないことを確認してください。

9「止水栓」を元の位置まで開く

※ 反時計回りに回してください。

10 給水部から水漏れしていないか確認する

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 13 ページ）

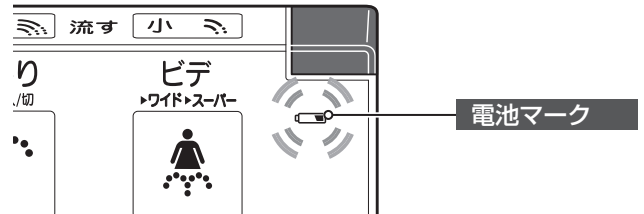
⚠注意

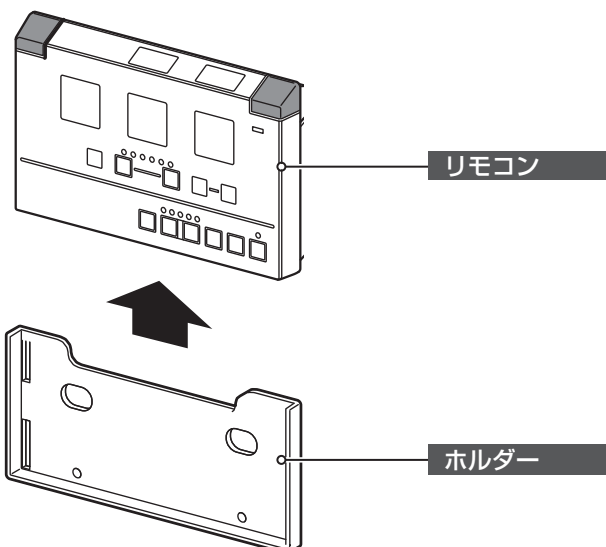
- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。

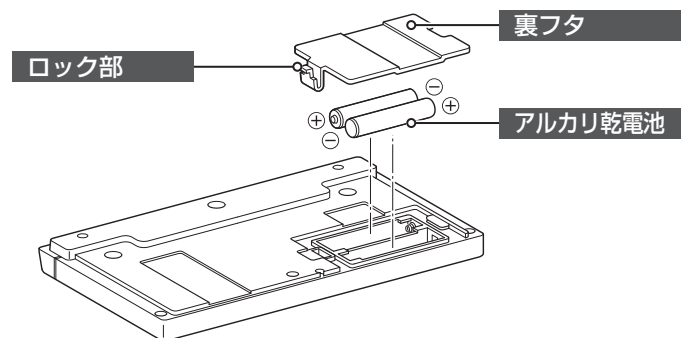
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

リモコンの電池マークが点滅したら

電池消耗により、「電池マーク」が点滅します。（☞ 27 ページ）

［注意］
- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコン表示通り正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ乾電池を使用してください。
- 電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。

リモコンの電池交換

1「リモコン」を上に持ち上げて、「ホルダー」から外す

2「裏フタ」を外し、新しい「乾電池」（1.5V アルカリ単三形、2 本）に取り替える

※電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。
※裏フタが外しにくい場合は、マイナスドライバーなどの工具にてロック部を解除して外してください。

3「裏フタ」を元通りにはめ、「リモコン」を「ホルダー」に上から差し込む

（参考）
- 電池マークは電池が消耗したときのみ点滅します。（通常は点滅しません。）
- 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合があります。
- 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。

定期的な点検のお願い

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、

取付けの日から 6 年後です。

●負圧破壊装置（バキュームブレーカー）が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になりますので点検が必要です。
有料になりますが、定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。
負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検は LIXIL 修理受付センターまでご依頼ください。（下記参照）
LIXIL 修理受付センターにご依頼した場合、点検料金の内訳は、点検料（技術料）+ 出張料 + 部品代（交換した場合）です。

LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

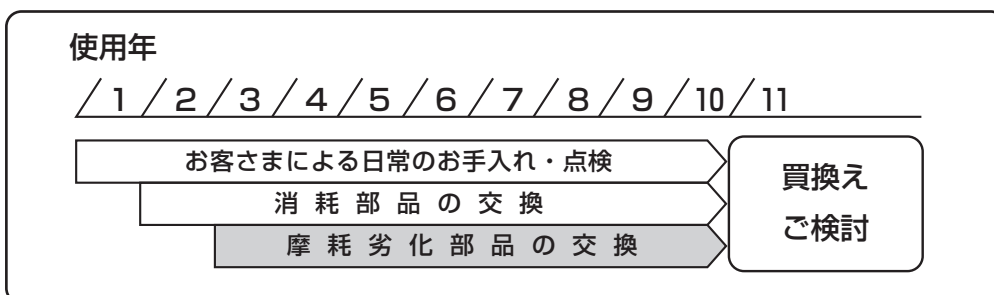
受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

定期的な部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

●部品が摩耗・劣化すると水漏れなどの原因になりますので交換が必要です。
●摩耗劣化する部品の例
例）止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、電動開閉ユニット、温風ファン、脱臭ファン、部屋暖房ファンなど
●部品の交換については、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

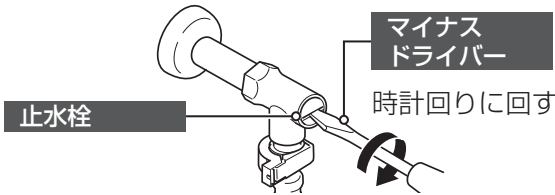
〈定期的な点検・部品交換の目安〉

お掃除・お手入れ方法

長期間使用しないときは

以下の場合は下記の手順に従って温水タンクの水抜きを必ず行い、電源を抜いてください。
●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
●別荘などで使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度が下がり、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります。）

温水タンクの水抜きのしかた

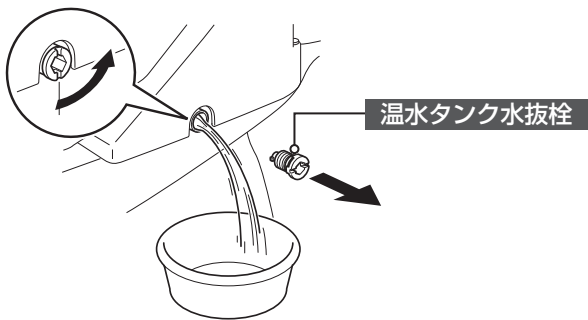
1 「止水栓」を閉めて、給水を止める

※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

2 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作して、タンク内の水を抜く

3 電源プラグをコンセントから抜く

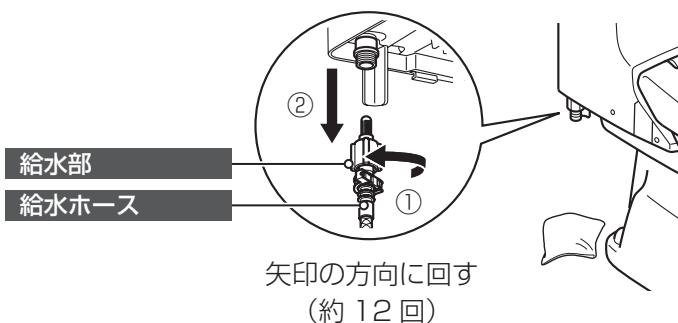
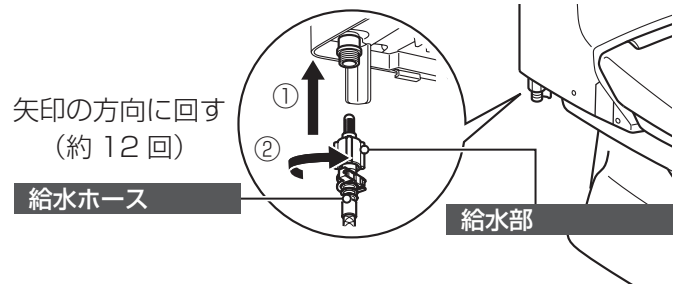
4 温水タンク水抜栓を外して、温水タンク内の水を抜く

あらかじめ水受け（約 1L 以上入るもの）を用意します。マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに90° 回して確実に外します。

※最初、タンク内の水は横に飛び散るので、ご注意ください。

5 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける

マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに90° 回して確実に取り付けます。

6 本体給水ホースから水を抜く

① 給水部の下に布などを置く
② 給水部を外す

③ 給水ホース内の水を完全に抜く
④ 給水部をしっかりと締め付ける

[注意]
●締付後、再度増締めをし、緩みがないことを確認してください。

7 電源プラグをコンセントから抜く

[注意]
特に凍結の恐れがある場合：
●便鉢内のため水をくみ出し、不凍液を入れてください。
※ため水をくみ出しただけでは、排水管から臭気が上がってきます。
●給水管内から水を抜く必要があります。水抜式をお使いの方は、上記手順に加え、室内の水抜栓を操作して、給水管から水を抜いてください。便鉢内のため水をくみ出し、不凍液を入れてください。

■再び使用するとき
必ず、ご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 13 ページ）

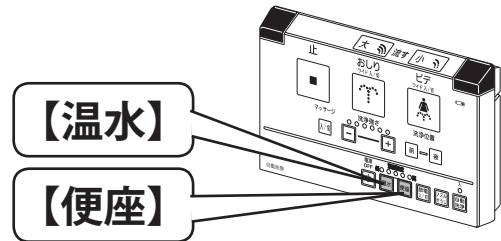
⚠注意

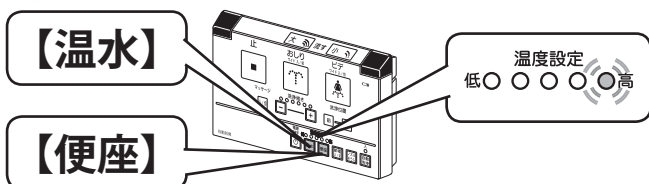
●給水部を外すときは、必ず止水栓を閉める。
●給水部を取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。
●給水部を取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

凍結しそうなときは

冬期などの冷え込みが厳しい場合、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。
（電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておきます。また、節電機能は解除します。）

一般的な凍結防止方法

1 【温水】を「高」、【便座】を「高」にして便フタを閉じる
2 節電を解除する（☞ 23 ページ）
3 室内を暖房する
※もし室内が暖房できない場合は、以下の方法で凍結防止を行ってください。

流動式便器の凍結防止方法

1 【温水】を「高」、【便座】を「高」にして、便フタを閉じる

2 節電を解除する（☞ 23 ページ）
3 室内を暖房する
※もし室内が暖房できない場合は、51 ページ6の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。
4 流動ダイヤルを時計回りに回す
※操作から約 1 分後にロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようになります。

5 流動状態を解除するには、流動ダイヤルを反時計回りに空回りするまで回して戻す

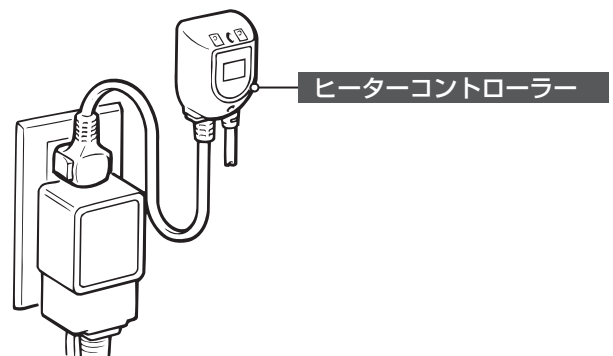
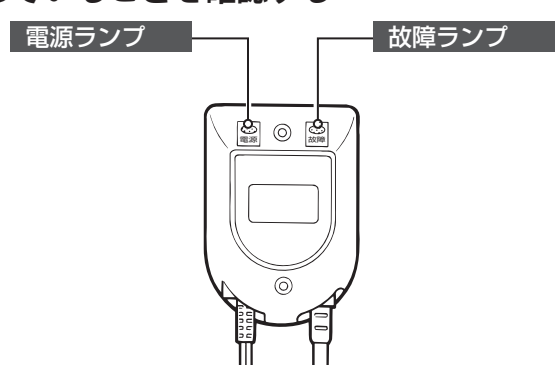
■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 13 ページ）

⚠注意

指示実行

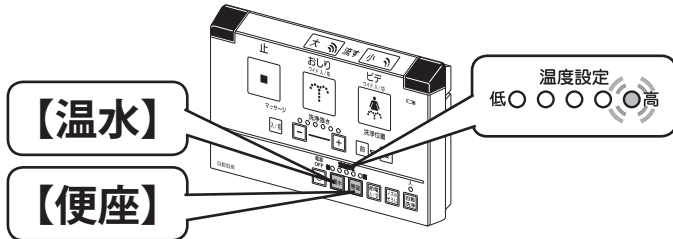
凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。
※凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

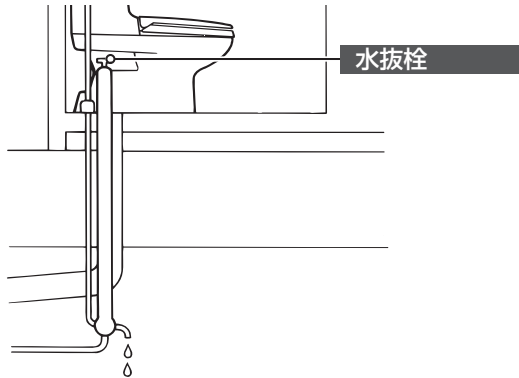
ヒーター付便器の凍結防止方法

1 「ヒーターコントローラー」の「電源プラグ」をコンセントに差し込む

2 「電源ランプ」が点灯、「故障ランプ」が消灯していることを確認する

[注意]
特に凍結の恐れがある場合：
● 便鉢内の溜め水をくみ出し、不凍液を入れてください。
※溜め水をくみ出しただけでは、排水管から臭気が上がってきます。
● 給水管内から水を抜く必要があります。水抜式をお使いの方は、「長期間使用しないときは」（☞ 49 ページ）に加え、室内の水抜栓を操作して、給水管から水を抜いてください。便鉢内の溜め水をくみ出し、不凍液を入れてください。

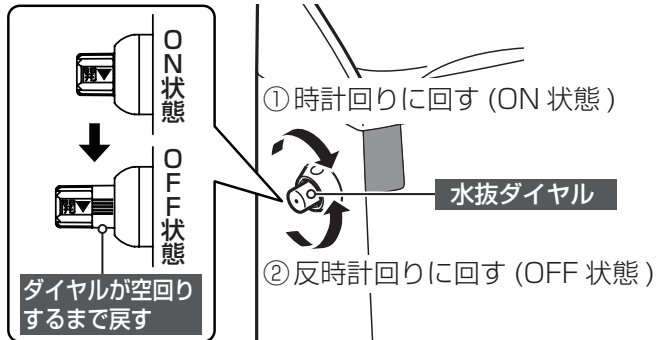
凍結しそうなときは

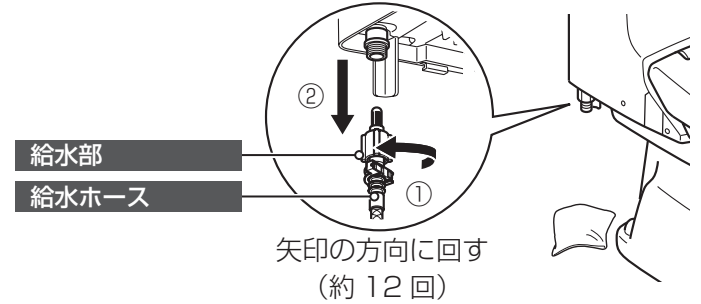
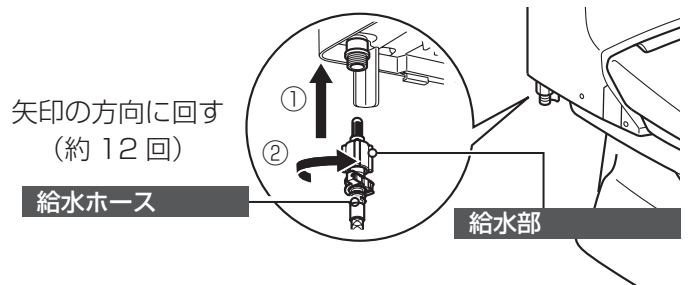
水抜栓による凍結防止方法

1【温水】を「高」、【便座】を「高」にして、便フタを閉じる

2 節電を解除する（☞ 23 ページ）

3 水抜栓を操作して、配管内の水を抜く〈凍結の恐れがある場合〉

4 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作し、タンク内の水を抜く

5〈水抜式の場合〉
水抜ダイヤルを時計回りに回して押し込み、反時計回りに空回りするまで回して戻す

※この操作により、ロータンク器具内の水がより抜けやすくなります。

6 本体給水ホースから水を抜く

① 給水部の下に布などを置く
② 給水部を外す

③ 給水ホース内の水を完全に抜く
④ 給水部をしっかりと締め付ける

[注意]
●締付後、再度増締めをし、緩みがないことを確認してください。

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
(☞ 13 ページ)

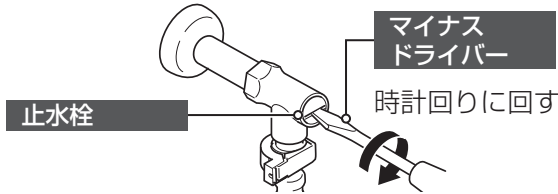
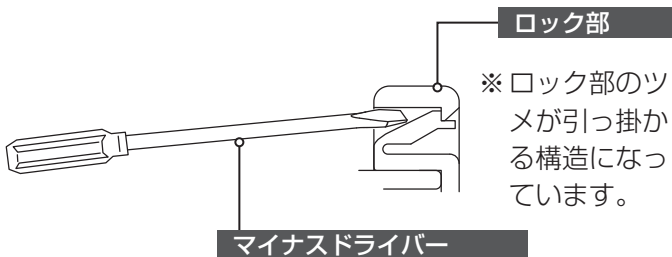
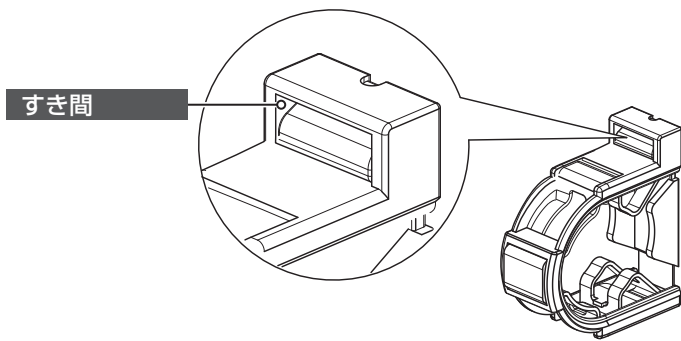
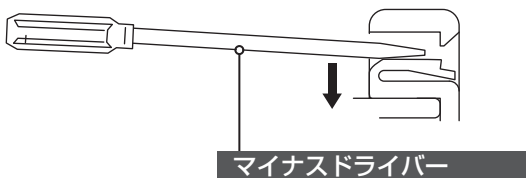
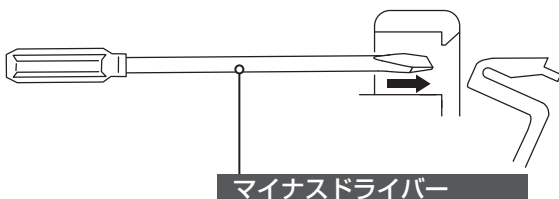
■もし凍結してシャワーが出なくなったら
万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

[注意]
●給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※給水ホースが破損する恐れがあります。
●凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。

引越しなどで本体を移設するときは

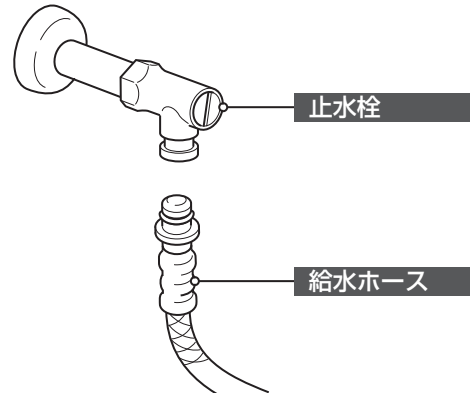
給水ホースの外しかた

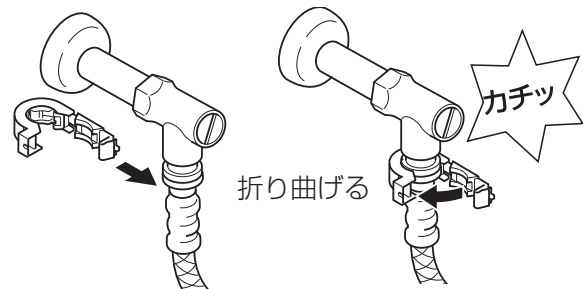
1「止水栓」を閉めて、給水を止める

※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

2 クリップのすき間にマイナスドライバーを差し込む

3 すき間に差し込んだマイナスドライバーを、箱状部分のつけ根方向に押す

4「3」の状態から前に押し、ツメを外す

※前に押すとき、ドライバーを少しひねりながら行うと、押しやすくなります。

5 クリップを外し、給水ホースを取り外す

給水ホースの付けかた

1 止水栓と給水ホースを取り付ける

2 クリップを下図のとおり、" カチッ " と音がするまで取り付ける

※取付後、クリップを回し、確実に取り付けられていることを確認してください。
また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

修理を依頼する前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目を確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
※「★」マークは、壁リモコン以外をご使用される場合の参照先です。お使いのリモコンの取扱説明書をご覧ください。

全機能

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
すべての機能が動作しない（電源ランプが点灯しない）	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。	−
	電源が「切」（電源ランプ消灯）になっていませんか。	【電源】を押して、本体表示部の電源ランプを点灯させます。	−
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。	13
	100V 以外の電圧がかかっていませんか。	**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	−
リモコンのスイッチを押しても動作しない（電源ランプは点灯している）	リモコンの電池が消耗していませんか。（電池マーク点滅 *）	新しい電池に交換します。	47 ★リモコンの電池交換
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っていませんか。	正しい方向に入れます。	47 ★リモコンの電池交換
	リモコンの送信部、または受光部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。	−
	インバーター照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。	−
	リモコンの受信部に太陽光が当たっていませんか。	太陽光が直接当たらないようにしてください。	−
	リモコンのスイッチを押すとリモコンの「OFF」ランプが点灯しませんか。	【電源】を押して、リモコン電源を「ON」にします。	−

＊：リモコンが受信部と反対側の壁に設置してある場合、電池ランプまたは電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

おしり洗浄・ビデ洗浄

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。	13
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	46
	水道圧が低くないですか。洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。	18,19 ★おしり洗浄 / ビデ洗浄
	着座センサーが検知していますか。	便座に座ってください。	27
	温水タンクが満水になっていますか。	試運転を行います。	13,14
	便器洗浄中ではありませんか。	故障ではありません。便器洗浄を優先しています。便器洗浄終了後、再度おしり・ビデなどのスイッチを押してください。	18,19
	給水ホースなど、配管に凍結防止ヒーターがついていませんか。	凍結防止ヒーターを「切」にしてください。給水温度が 40℃を超えると安全装置が働き作動しなくなります。	ー
シャワーが温かくない	温水温度が適当な温度に調節されていますか。	【温水】を押し、適当な温度に調節します。	15 ★ご使用前の準備
	長時間洗浄しましたか。	約 10 分で温かくなります。貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。	27
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	23 ★節電
シャワーが弱い	便器洗浄中ではありませんか。	故障ではありません。便器洗浄を優先しています。便器洗浄終了後、再度おしり・ビデなどのスイッチを押してください。	18,19
	洗浄強さが弱になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。洗浄強さを一番強くしてもまだ弱いと感じる場合、【おしり】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押すと、洗浄強さをさらに 1 段階強くすることができます。ただし、お湯切れが早くなるので注意してください。	24
シャワーがうまくあたらない	他機種からの買い換えの場合、交換前のものと製品の構造が異なるため、交換前のものに比べてシャワーのあたる位置に違いが感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		ー
シャッターが外れている（グラついている）	掃除中にブラシなどで引っ掛けて落としていませんか。	ノズルシャッターを正しく取り付けます。	40

おしり洗浄・ビデ洗浄（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
ノズルそうじが作動しない	本体をリフトアップした状態で「ノズルそうじ」を操作していませんか。	本体を元に戻した状態で「ノズルそうじ」を操作してください。	41
シャワーの向きがおかしい	ノズル先端の向きが正しいですか。	ノズル先端を正しい向きに取り付けてください。	44

暖房便座

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座が暖かくない	便座温度が適当な温度に調節されていますか。	【便座】を押し、適当な温度に調節します。	15 ★ご使用前の準備
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	23 ★節電
	省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。 トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。		
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。	24 ★より快適な機能
	1 時間以上便座に座っていませんか。	1 時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座から一度立ち上がり、座り直してください。	–

脱臭〈脱臭付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	便座が水でぬれていたり、汚れていませんか。	便座を掃除します。	–
脱臭ファンが回らない	自動脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。	17 ★脱臭
	便座に 2 時間以上座っていませんか。	故障ではありません。便座に 2 時間以上座っていると、自動的に着座センサーが「切」になります。	–
脱臭効果が弱くなった（ニオイが気になる）	脱臭カートリッジにホコリなどが付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除します。	45
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。	45,71

フルオート便器洗浄〈フルオート便器洗浄付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
自動で便器洗浄しない	【自動洗浄】が「切」になっていませんか。	【自動洗浄】を「入」にします。	21 ★便器洗浄
	長期間使用していませんか。	手動洗浄で便器洗浄を行います。	21 ★便器洗浄
フルオート便器洗浄の設定が変更できない	【自動洗浄】を２回連続で押してください。 （1 回目の操作では現在の設定を表示します。）		21 ★便器洗浄
便器内に水が流れ続ける（水が止まらない）	〈流動式の場合〉 流動ダイヤルが開いていませんか。	流動ダイヤルを反時計回りに回します。	50
	〈水抜式の場合〉 水抜ダイヤルが開いていませんか。	水抜ダイヤルを反時計回りに回します。	51
大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる	故障ではありません。 大洗浄と小洗浄では約１Ｌ異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間にも大差ありません。そのままご使用ください。		−

リフトアップ〈リフトアップ付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
リフトアップ下降時に本体が降りきらない	本体と便器の間に異物が入っていませんか。	異物を取り除いてください。	−

修理を依頼する前に

便器（陶器部）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便器が詰まった	ラバーカップを使用し、詰まりを取り除きます。		12
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	トイレットペーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用された場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。	21
		一度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では 5m 程度を目安にしてください。	12
小便がはね返る	洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。便器奥側をねらうよりも、水面の中央をねらったほうが小便の飛散を軽減できます。また、座ってご使用いただければ、より小便の飛散は軽減できます。着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。		28
床がぬれている（便器表面や止水栓がぬれている）	水温と室温の差が大きく、結露が発生し水滴が垂れた可能性があります。	換気扇や、窓を開けると結露を軽減できます。	28
		別売品の結露防止カバーをご使用ください。	71
床がぬれている（便器表面や止水栓はぬれていない）	尿が便器を伝って床に垂れた可能性があります。	床をふいてしばらく様子をみてください。それでも床のぬれている場合は、**コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	―
便器を洗浄すると「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。 汚物を便器から排出する際に、空気も同時に巻き込むためゴボゴボと音が発生します。	ゴボゴボと音が 2 秒以上続く場合は、通気管等を設置することで軽減できます。工事された業者さまへご相談ください。	―
便器洗浄後に床下の排水管から「ポタポタ」と音がする	故障ではありません。 便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。		―
便器の水面の大きさが小さい	サイホン式や洗い落とし式といった便器の種類によって水面の大きさが異なります。		―
洗浄時に、洗浄した水がはねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水がはねる場合があります。		―
用便時に水がはね返る（おつり）	便器に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。	あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただけば軽減できます。	―
便器（陶器）にピンク色の汚れがある	空気中のバクテリアが、便器に付着した汚れを栄養に繁殖したものです。バクテリアは水中や空気中に分布しており、健康な人に害を及ぼす細菌ではありません。	中性洗剤を使用して掃除してください。繁殖しやすいためこまめなお手入れをおすすめします。漂白剤を使うと除菌効果があります。	―

便器（陶器部）（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便器（陶器）の中に黒い粗状の付着物ができる	給水管のサビが洗浄時に流れて便器に付着したものです。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程度付着した部分にあてて放置した後、布でふき取ってください。	ー
便器の中に、赤いサビの付着物がある			
便器（陶器）を掃除していたらスジ状の金属キズがついた（メタルマーク）	便器と金属が接触すると、便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがあります。 キズではなく便器表面に付いている汚れと同じです。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1時間程度付着した部分にあてて放置した後、布でふき取ってください。 応急処置として、市販の研磨材入りトイレ用中性洗剤でも汚れを落とすことは可能です。 ※ただし便器（陶器）のうわぐすりを削りとってしまうため、強くこすらないでください。また、継続的な使用は控えてください。	ー
子供の便が付着して落ちない	幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。		ー
バリウムが流れない	バリウムなど水に溶けにくく、重いものは 1 度の洗浄では流しきれない場合があります。	便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。	12

その他

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
ロータンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか。	止水栓を十分開いてください。	13
	ストレーナーが汚れていませんか。	ストレーナーを掃除してください。	46
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。	ー
本体から"グググッ"と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●【電源】を入れたとき ●おしり洗浄・ビデ洗浄を止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。 洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に、異常がなければ問題ありません。		ー

修理を依頼する前に

その他（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
電源ランプが点滅している	シャワートイレ本体に給水されていない。（断水、止水栓が閉まっているなど）	給水後、止水栓を開いて、試運転を行ってください。 それでも点滅する場合は、**電源プラグを抜いて修理を依頼してください。**	13
	温水・便座・洗浄モーターのいずれかの機能に不具合が生じている。	【電源】を「切」にしても点滅している場合は、**故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。**	ー
	点検時期が来ている。	【電源】を「切」にして消灯する場合は、点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。	ー
	給水ホースなど、配管に凍結防止ヒーターがついていませんか。	凍結防止ヒーターを「切」にしてください。 給水温度が 40℃を超えると安全装置が働き作動しなくなります。	ー
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）	故障ではありません。 後ろ足（奥側の出っぱり）は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。		ー
【リフトアップ付の場合】 便フタ・便座を開くと本体がガタつく	故障ではありません。 リフトアップ付の場合はリフトアップの動作のためにスキマを持たせた設計になっていますので、便フタ・便座を開くと本体が動きます。そのままご使用ください。		ー
手洗い水が少ない（手洗い付の場合）	止水栓が十分開いていますか。	止水栓を全開にしてください。	13
	ストレーナーが詰まっていませんか。	ストレーナーの掃除を行ってください。	46
手洗い水が出るのが遅い	故障ではありません。	構造上、数秒かかる場合があります。	ー
タンクをゆらすと手洗い水が流れる	故障ではありません。	タンクに強い衝撃を与えないように注意してご使用ください。	ー
お買い上げ時の設定に戻したいとき	《便利な使い方》で変更した機能を、すべてお買い上げ時の設定に戻します。	**【おしり】と【温水】と【便座】を同じタイミングで 2 秒以上押します。**	26 ★より快適な機能

《便器洗浄水がなかなか止まらない場合》

便器洗浄後 5 分以上たっても洗浄水が止まらない場合は、洗浄ハンドルが真下を向いているかを確認してください。ハンドルが真下を向いていても洗浄水が止まらない場合は、止水栓を時計回りに回して給水を止め、ロータンクフタおよび中フタを外して以下の確認を行ってください。（ロータンクフタ・中フタの外し方は次ページ参照）
※止水栓の操作のしかたは〈給水時間が長くなったら / シャワーが弱くなったら〉（46 ページ）をご覧ください。

タンク内の水位を確認してください

止水栓〈開〉※
水があふれている
（便器の中に少しずつ水が出ている）

※手洗付の場合は、接続管を下に向けてください。漏水の原因になります。

ボールタップの調節ダイヤルで水位調節をしてください。
※《水位調節のしかた》（62 ページ）をご覧ください。

止まらない

ボールタップのダイアフラムパッキン (A)、またはボールタップ (B) の交換が必要です。

止水栓〈閉〉
水があふれている
（給水を止めても便器の中に少しずつ水が出ている）

フロート弁のフラッパー弁が弁座に納まっていることを確認してください。

弁座にゴミ等の異物が挟まっている場合は、取り除いてください。

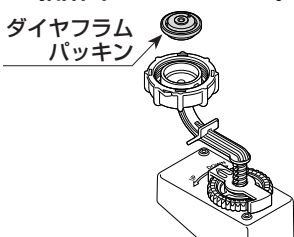
まだ止まらない

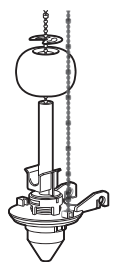
フロート弁のフラッパー弁 (A)、またはフロート弁 (B) の交換が必要です。

(A) の場合 → ■補修用部品の交換（下記）をご覧ください。
(B) の場合、または原因がよくわからない場合 → お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご相談ください。（連絡先は 68 ページに記載）

■補修用部品の交換

ダイアフラムパッキンや、アームパッキン、フラッパー弁が劣化したり、キズついたりすると止水不良を起こすことがあります。この場合は、対象部品を交換する必要があります。

■ボールタップ止水パッキン
（品番：A-7630）

■フラッパー弁
（品番：下表参照）

タンクセット代表品番	フラッパー弁品番
DT-B28□U 型 , B25□U 型 , B28□GU 型 , B25□GU 型	A-7633
DT-B28□P 型 , B25□P 型 , B28□GP 型 , B25□GP 型	A-7633-1
DT-B28□型 , B25□型 B28□G 型 , B25□G 型	A-7633-3

※□には 1 ～ 3 の数字が入ります。

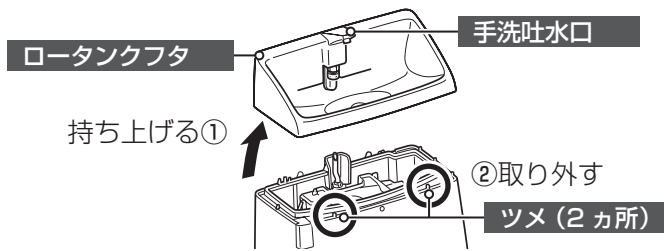
※ 交換方法は、付属の説明書をご覧ください。
※ 購入方法は、「別売品の購入方法」（72 ページ）をご覧ください。

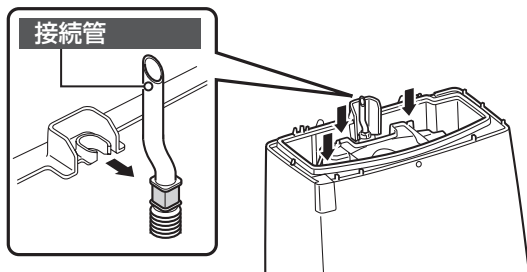
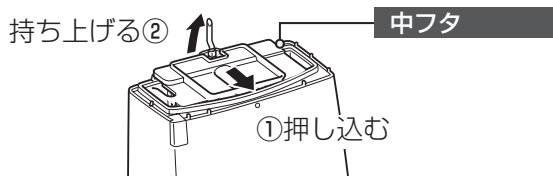
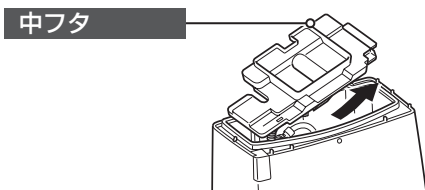
修理を依頼する前に

《ロータンクフタ・中フタの外し方 / 取付け方》

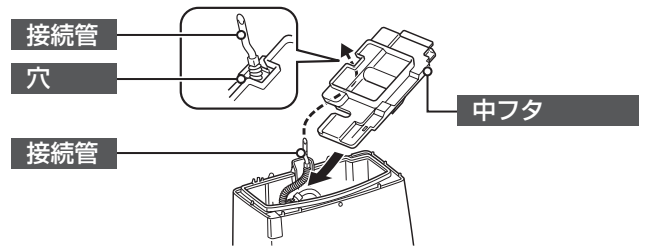
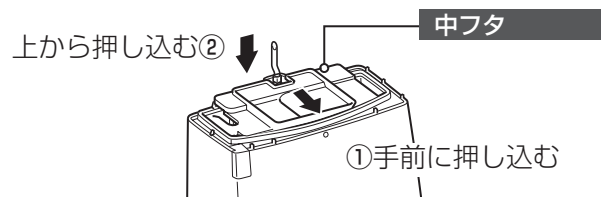
ロータンクフタと中フタはシャワートイレの種類により、外し方・取付け方が異なりますので、ご注意ください。

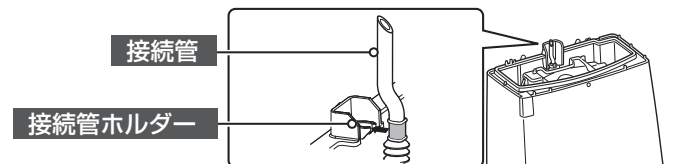
ロータンクフタ・中フタの外し方

1 ロータンクフタの後部を持ち上げ、手前のツメ（2ヵ所）を外し、ロータンクフタを取り外す

[注意]
● ロータンクフタを外す際には、電源を切ってください。
※ フルオート便器洗浄が作動して接続管から水が噴き出し、床や壁をぬらす恐れがあります。また、電装部品に水がかかると故障する原因となります。

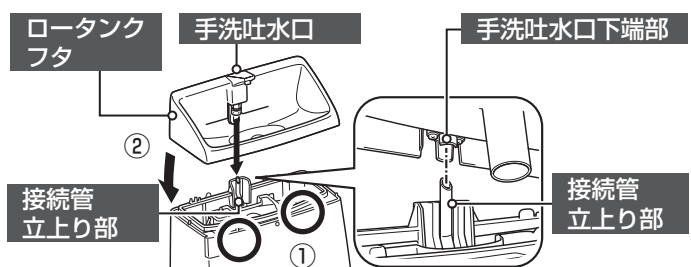
2 ロータンクから接続管を外し、中フタのツメ3ヵ所（図中矢印）を外す

3 中フタを手前に押し込みながら、後部を持ち上げる

4 中フタの右側から引き出して外す

[注意]
● 接続管の出口は必ずタンク内の下に向けてください。
※ 上に向いていると、タンクの外に水が飛び出します。

ロータンクフタ・中フタの取付け方

1 〈手洗付の場合〉中フタ後部の穴に接続管を通し、タンク左手前から中フタを差し込む

2 中フタを手前に押し込みながら、後部を上から押し込む

3 中フタのツメ3ヵ所（図中矢印）を押さえる

4 〈手洗付の場合〉タンクに接続管を取り付ける

取付位置に注意してください。
接続管の上側に取り付けると、吐水管まで届かず漏水の原因になります。

[注意]
● 手洗付の場合は、手洗吐水口の下端部に接続管立上り部を確実に差し込んでください。
● ロータンクフタが浮いていたり、グラつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。

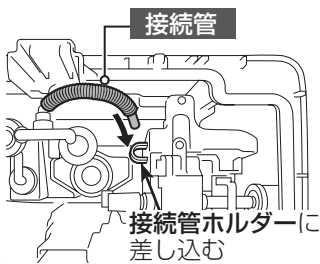
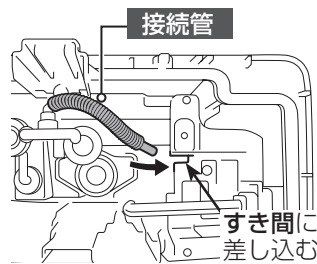
5 ロータンクフタを手前から取り付ける

《水位調節のしかた》

ロータンク内の水位（水面）がオーバーフロー管のウォーターラインマークに合っていることを確認してください。
水位がウォーターラインマークに合っていない場合は、以下の要領で直してください。

調節方法

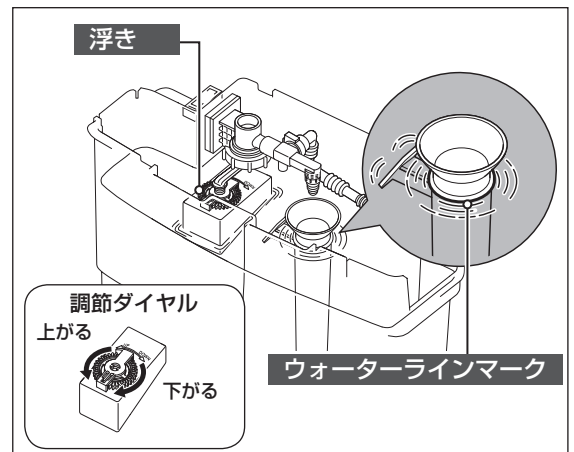
1 ロータンクフタ・中フタを外す
（☞ 61 ページ）

2 手洗付の場合は、接続管を下に向ける

接続管ホルダーがある場合

接続管ホルダーがない場合

※機種により形状は異なります。

3 浮きの調整ダイヤルを回して、水位をウォーターラインマークに合わせる
（調節ダイヤルを 1 回転させると、水位は 3 ～ 4mm 変化します。）

4 調節後、便器洗浄を行い、水位を確認する

5 接続管 (手洗付) を元に戻し、ロータンクフタを取り付ける（☞ 61 ページ）

安全・安心にお使いいただくために

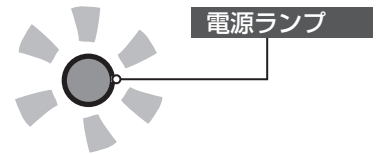
温水洗浄便座は電気製品のため、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。
また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

1. 所有者登録のお願い

シャワートイレを安全かつ安心してお使いいただくために、製品安全や保守に関わる情報をご提供できるよう、所有者登録をお願いしております。所有者登録のお手続きは、Web でのご登録、または専用ハガキに必要事項をご記入の上当社までご返送ください。
詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
※非住宅でご使用のお客さまは Web のみのご登録となります。
※ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）について

製品のご使用を開始して約 10 年経過後に、電源ランプが連続して 1 秒間に約 5 回の点滅を繰り返します。
この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。

当社では「おまかせ点検（有料）」をご用意しております。
この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。
※お客さまの安心・安全を目的とした表示のため、お客さまによる操作ではこの表示を消灯することはできません。LIXIL トータルサービスのサービスマンによる「おまかせ点検（有料）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯いたします。
※詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-179-400）

3. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願いいたします。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか? ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❼ 電源プラグにほこりがたまっていませんか? はい □ → ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は弊社お勧めの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

4. 点検の修理、お申し込みは

LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間9:00~20:00(365日受付)
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

5. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦４桁で表示してあります。）

警告	**【想定安全使用期間】10 年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。

(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	**電圧・周波数**	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	**定格負荷**	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	４人家族（男性２人、女性２人）において、大便：１回／日・人、小便男性：４回／日・人、小便女性：４回／日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

❖経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（☞ 53 ページ以降）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
●コードの傷みやコンセントのガタツキ
●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

分解禁止

分解や改造は
絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

指示実行

シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める。
※ 感電・火災・室内浸水の恐れがあります。

指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■ 保証期間中の修理

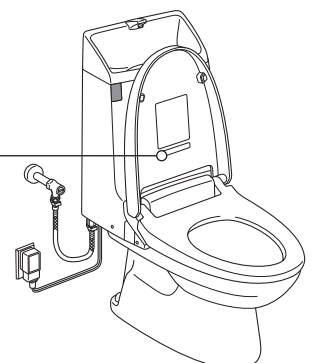
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、
お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

■ 連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
（便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールをご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後、便器部が１０年、それ以外（シャワートイレ機能部）は６年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●負圧破壊装置（バキュームブレーカー）･･･６年ごとに点検
- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより３年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により電源ランプが点滅したら

定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法などのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　　　9:00～18:00
　　　　　土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話･PHS･IP電話などでは
ご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

7. 商品についての修理のご依頼は

LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

■延長保証について
通常、保証期間は２年間ですが、「所有者登録」されますと無料でさらに延長されます。
Web からご登録いただくか、同梱の「所有者登録ハガキ」に必要事項を記入し、郵送してください。
※詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
※非住宅でのご使用は、Web でご登録いただいた場合のみ１年間延長され、計３年間保証になります。

仕様

グレード			DT-B283U型 DT-B253U型 DT-B283GU型 DT-B253GU型	DT-B283型 DT-B253型 DT-B283G型 DT-B253G型 DT-B283P型 DT-B253P型 DT-B283GP型 DT-B253GP型	DT-B282U型 DT-B252U型 DT-B282GU型 DT-B252GU型	DT-B282型 DT-B252型 DT-B282G型 DT-B252G型 DT-B282P型 DT-B252P型 DT-B282GP型 DT-B252GP型	DT-B281U型 DT-B251U型	DT-B281型 DT-B251型 DT-B281P型 DT-B251P型
			ECO5	ECO6	ECO5	ECO6	ECO5	ECO6
			フルオート便器洗浄・脱臭		脱臭		－	
定格電源			AC100V 50/60Hz					
定格消費電力			350W					
省エネ区分			貯湯式					
年間消費電力量 ※1			176kWh/年（節電機能切時：246kWh/年）					
使用水道圧範囲	最低必要圧力		0.06MPa（流動圧）					
	最高水圧		0.75MPa（静水圧）					
使用温度範囲			0℃～40℃					
商品寸法			幅417mm×奥行740mm×高さ913mm（手洗無）、993mm（手洗付）					
商品質量			約34kg（機能部：約10kg、便器部：約24kg）					
電源コード			有効長さ:1.0m（アースコード付）					
便器部	洗浄水量		ECO5：大洗浄5L/小洗浄3.8L(フロート弁調整時：大洗浄8L/小洗浄6L) ECO6：大洗浄6L/小洗浄5L　(フロート弁調整時：大洗浄8L/小洗浄6L)					
	給水方式		水道直結式					
	便器洗浄方式		サイホン式					
	サイズ		大型					
	凍結防止	流動方式 流動水量	60L/h					
		ヒータ付便器方式 ヒータ容量	27W					
		ヒータ付便器方式 安全装置	温度ヒューズ					
		ヒータ付便器方式 電源コード長さ	1.5m					
機能部	洗浄	給水方式	水道直結式					
		給湯方式(タンク容量)	貯湯式（0.73L）					
		おしり吐水量	0.50～0.70L/分（6段階調節）供給水圧0.2MPaのとき					
		ビデ吐水量	0.60～0.90L/分（6段階調節）供給水圧0.2MPaのとき					
		温水温度	水温・約32℃～40℃（計6段階切替） スーパー節電設定時：水温・約30℃～36℃ ワンタッチ節電(8h)設定時：室温					
		ヒーター容量	300W					
		安全装置	温度ヒューズ・空焚き検知回路・高温感知スイッチ					
	暖房便座	表面温度	使用時：室温・約28℃～36℃※2(計6段階切替) スーパー節電設定時：室温・約27℃～30℃ ワンタッチ節電(8h)設定時：室温					
		ヒーター容量	48W					
		安全装置	温度ヒューズ					
	脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式				－	
		脱臭能力	パワー脱臭時：0.11m^3/分 フルパワー脱臭時：0.14m^3/分		パワー脱臭時：0.11m^3/分		－	
リモコン	標準リモコン	寸法	幅176mm×奥行24mm×高さ110mm					
		電源	単三形アルカリ乾電池：2本					
	インテリアリモコン	寸法	幅325mm×奥行145mm×高さ42mm				－	
		電源	単三形アルカリ乾電池：2本				－	

※1：省エネ法(2012年度基準)に基づいた測定値。
※2：省エネに配慮して、便座温度は最高36℃としております。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。
　トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

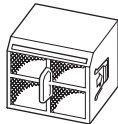
［注意］●この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

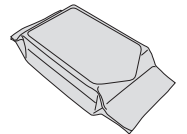
別売品のご案内

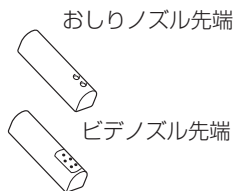
当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

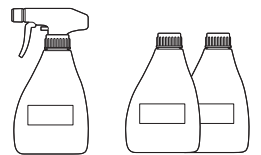
別売品について

■ 取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

脱臭カートリッジの寿命は、約 7 年です。
ニオイが気になりだしたら交換してください。
(☞ 45 ページ)

■ トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36-4SET）

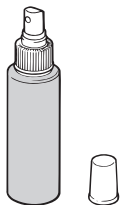
プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。
(☞ 33 ページ)

■ おしりノズル先端（品番：CWA-220）
■ ビデノズル先端（品番：CWA-221）

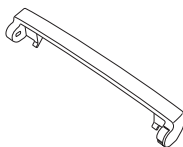
汚れが気になるときに交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。(☞ 43 ページ)

■ プロガード洗剤 スプレー付き（品番：CWA-85A）
■ プロガード洗剤 詰め替え用（品番：CWA-86A）

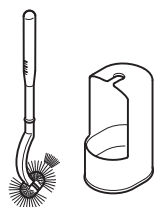
プロガードにより加工された表面をキズつけない、プロガード専用の洗剤です。
(☞ 39 ページ)

■ 結露防止カバー（品番：CWA-106）

止水栓の結露を抑え、カビ・汚れを防ぎます。

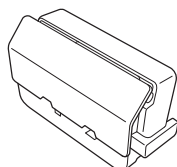
■ シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
(☞ 33、34 ページ)

■ 便座ストッパー（品番：CWA-41A）

便フタを外してご使用する場合にご購入ください。

■ お掃除ブラシ（品番：CWA-48、CWA-48-A）

便器のプロガード表面をキズつけないブラシです。便鉢の裏まできれいに洗い落とせます。(☞ 39 ページ)
※ CWA-48-A はケースが付きません。

■ ノズルシャッター（品番：CWA-235）

汚れが気になるときに交換できます。ノズルまわりをいつも清潔に保てます。
(☞ 40 ページ)

別売品のご案内

別売品の購入方法

■ 直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

■ 宅配サービスをご利用される場合

宅配サービスでは送料が別途必要となります。
・お電話にてご注文いただく場合
LIXIL パーツショップ水廻り部品販売窓口へご連絡ください。
[ご注文フリーダイヤル]
電話番号　0120-126-015
受付時間　9：00 ～ 17：00（土・日・祝日・夏期・年末年始の休みは除く）
・インターネットにてご注文いただく場合
[ホームページアドレス]
http://inax.lixil.co.jp/aftersupport/sales/index.html
（インターネットではお取扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。）

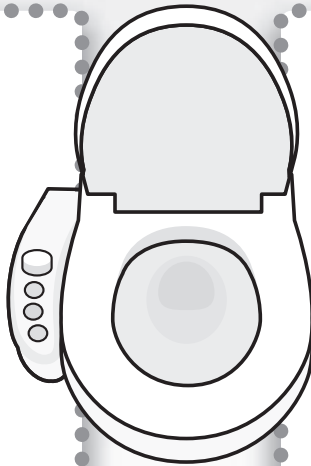
重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は 電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したままで使わないでください。

火災や感電、室内浸水の原因になります。
異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店またはメーカーへご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。
また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店またはメーカーにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは・・・電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック（電気の道）ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト

症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、直ちにご連絡ください。

便座・便座コード

便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- ☐ 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？
- ☐ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- ☐ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- ☐ 便座コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ

電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- ☐ 電源コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？
- ☐ 電源プラグの差込部が発熱・変色していませんか？

水漏れ

水漏れしている状態で、使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。

- ☐ 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

一般社団法人 **温水洗浄便座工業会**　後援 経済産業省
〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18　http://www.sanitary-net.com

商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は
LIXIL修理受付センターへ

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間　9:00～20:00（365日受付）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

年	月	日	損傷と処置	サービス担当者

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

GCW-1261J(13082)